

植調

第29巻第12号



イチビの種子・長さ4mm (*Abutilon theophrasti* Medic.)

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

ひと足伸びた
馬力の一発。



シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利です。省力化の時代に応じて、今ここに新しいタイプの初中期一発処理除草剤の誕生です。

水田初中期一発処理除草剤
シンザン® 粒剤
SINZAN
※：住友化学工業㈱・日本バイエルアグロケム㈱・三井東圧化学㈱の共有登録商標

〈シンザン普及会〉
塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／
日本バイエルアグロケム／住友化学工業
三井東圧化学／三井東圧農業
(事務局)
三井東圧農業株式会社
東京都中央区日本橋室町2-1-1

軽くて良く効く！ バイエルの1キロ粒剤

水田初・中期一発処理1キロ除草剤

バイエルの1キロ除草剤は軽量・小型・まきやすい粒剤で、なんといっても楽。効果は高く、機械散布に対応しているおなじみの粒剤から生まれたミニ袋。はるかに省力化された除草剤で、これからの時代に合った雑草防除のための傑作。

—— バイエル ——
ザーワ1キロ
ザーワD1キロ
アクト1キロ粒剤
バトル1キロ粒剤

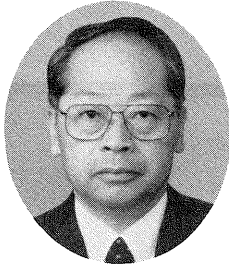
* 地域に合わせてお選びください。



- ノビエから水田一年生雑草・多年生雑草に優れた効果を示します。
- クロクワイやセリなど難防除雑草に高い効果が期待できます。
- 最近とくに問題のアオミドロや表層剝離の発生も抑えます。
- 処理適期幅が広く、実用的な除草効果があがります。

Bayer

日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108



巻頭言

「基本に戻れ」

(財)日本植物調節剤研究協会 専務理事 小澤 啓 男

小説や対話の中では、あいまいな表現が幅をきかすことがままある。ストレートに書いたり言うよりは感情的にも良いし、お互いの関係が和やかになり、かえって温かみも伝わるからである。しかし、重要な意志や真実を伝える時、あるいは適切な技術指導の時にはどうだろうか。あいまいな表現は誤解を招き易いし、過ぎて伝わることも多い。たとえば早く誤りに気が付いたとしても、軌道修正や曲がり道を余儀なくされることになる。

スポーツの世界ではよく「基本に戻れ」の科白を良く見たり聞いたりする。しかし、基礎とか基本のないものに言っても意味がないのではないか。「当然理解しているものと思った」というのでは適切な指導にはならない。良き指導書たれ、を編集テーマにした「暮らしの手帖」の故花森氏の「言葉はこちらの考えを伝える道具なのだ、気取った文章やあいまいな言葉を使うな」との気持ちは良くわかる気がする。

かつて、「農は国の礎」。コメは「命の母」と言われたが、いまは内外から変貌せざるを得ない状況である。ウルグアイラウンド農業合意で、ミニム・アクセスが決定、昨年からの米の輸入が始まった。国内の米の消費も減少の方向で、農家の消費量はともかく、一般消費世帯では外食・弁当・出前を加えて昨年の十月から十二月、月平均一人5.3kgと報告されている。また、農業センサスの結果、農家戸数は350万戸を割り、四人に一人は65才以上と言うことになっている。このような状況の中で、米の生産コスト低減、省力化は避けて通れない。

雑草との戦いでもあった米の栽培で、雑草に片を付けた除草剤、散布すれば雑草は防除できる。特に管理の良い水田ではその後、雑草のことは全く考えなくて済む。除草剤の果たした貢

献度は計り知れない。ところが、昨今雑草の発生が極めて少なくなった水田の話を耳にする。たとえ、発生診断の難しさはあるにしても、除草剤の使用は、果たして適切なものだろうか、水田に雑草が発生しないという結果だけに満足し切っていないだろうか。省力性を維持しながら低コスト化を真剣に考えなければいけない時を迎えて、「除草剤を使い始めた頃の気持ちに戻る」が必要なのではないか。農業の真似事はできても、真の百姓には一朝一夕では成れない。米作りは種子を蒔いて、気象にあらゆる気を配りながら、半年がかりで収穫する。自然現象の恐ろしさや、雑草の不始末の結果がもたらす怖さは十分過ぎる程に熟知した人々である。今こそ、いや今だからこそ、米作りの基礎を、基本を知っている人々が、無駄のない除草剤使用に徹して欲しいと願うところである。

水田除草剤は近々3キロ剤が1キロ剤に替わる。また、フロアブル剤の普及も急速に広がる傾向にあり、その先はジャンボ剤などの投げこみ剤に大きく変わるものと思われる。これを機に、「全ての雑草に有効なものから、防除を必要とする雑草に効くもの」への選択に転換する勇気を持ってもらいたい。

「環境に優しい云々」などと格好いい表現は別として、農家にはあいまいな、気取った言い回しは通用しない。日本農業の誇り『米作り』を存続させるために、除草剤の開発・普及に携わる者の使命は、手軽に処理でき、しかもできるだけ低コストな除草剤を一つでも多く早く提供し、状況に合わせて適切に使用する具体的な技術の伝達・普及を図ることであろう。それが初心に戻って、除草剤を更に大切に扱う第一歩となるのではないかと思うこの頃である。

目次

(第 29 卷 第 12 号)

巻 頭 言	水稲用フロアブル剤と水管理について……………12
「基本に戻れ」…………… 1	<財>日本植物調節剤研究協会 技術部>
<財>日本植物調節剤研究協会	
専務理事 小澤啓男>	平成7年度水稲作関係除草剤試験成績概
	要……………16
野菜セル成型苗での除草剤の安全性と問	<財>日本植物調節剤研究協会 技術部>
題点…………… 3	
一 抑制型除草剤の場合一	
<財>日本植物調節剤研究協会	
横山昌雄・下川英仁・土田邦夫>	

使って安心、三共の農薬。



三共株式会社

●畦畔から手軽にまける
(新しい)水田初期一発処理剤

カルショット® フロアブル
Lフロアブル

●水田初期一発処理剤

ミスラッシャ® 粒剤

●移植前・水田初期除草剤

シング® 乳剤

●水田初期除草剤

サンバード® 粒剤

●新しい水田中期除草剤

ザーベックス® SM粒剤

野菜セル成型苗での除草剤の安全性と問題点

——抑制型除草剤の場合——

(財)日本植物調節剤研究協会 横山 昌雄・下川 英仁・土田 邦夫

1. はじめに

農業生産技術の大きな目標の一つは生産効率の向上(省力, 軽作業)であり, 近年農業従事者の高齢化, 労働力の減少などによりその必要性は極めて高く, 緊急に解決しなくてはならない問題である。

セル成型苗は育苗から定植までの作業の軽減に役立つ技術として, すでに実用化され, 普及している。小田はセル成型苗の特徴として育苗システムができあがっていること, セル成型トレイが軽くそれ自体持ち運びやすいこと, 苗が小さく小面積で大量の苗を扱えること, 輸送性に優れること, 鉢の形状が優れ定植等の作業が容易であることをあげ, 普及した理由としている。

セル成型苗が導入され約10年経過しているがその普及は近年とくに急速である。1992年には1千haであったのに対して1996年には2万haに達することが見込まれている。

さて, セル成型苗はキャベツ, ハクサイ, レタスなど大規模に作付けされている品目でとくに普及が進んでいる。これらの野菜では雑草防除のために除草剤を使用する場合が少なくない。

現在, セル成型苗での栽培だからといって特別に除草剤を選んでいるわけではなく, セル成型苗での特別な使用法が作られてもいない。しかし, 今後, セル成型苗がキャベツやハクサイ,

レタスに限らず, 野菜全般に普及するであろうことを考えると除草剤の安全性について明確にしておく必要がある。

ここでは, 平成6年度に開催されたセル成型苗に対する除草剤の適用についての研究会で検討された内容をもとにセル成型苗の除草剤の安全性とその利用について多少の私見を交えて紹介する。

2. セル成型苗と薬害

——小さい苗は安全か——

セル成型苗の野菜に除草剤を使用するときには「セル成型苗のような小さい苗は安全であろうか」という素朴な疑問を抱くのではないだろうか。確かに, 常識的には小さい植物のほうが除草剤に対する感受性は高い。除草剤の使用時期を示すとき, 雑草何葉期まで, 作物何葉期以上と表現する。セル成型苗に関して言えば通常の移植苗に比べて小型であり, 除草剤に弱い印象がある。

これまで地床苗ではセル成型苗のように小型の苗を定植する機会が少なく, 苗の大きさと除草剤との関係を詳しく調べた例はほとんどなかった。セル成型苗を育てるトレーにはいろいろなサイズがあり, それによって苗の大きさも変わる。そこで, 植調研究所ではセル容量の大きさと薬害との関係をキャベツのセル成

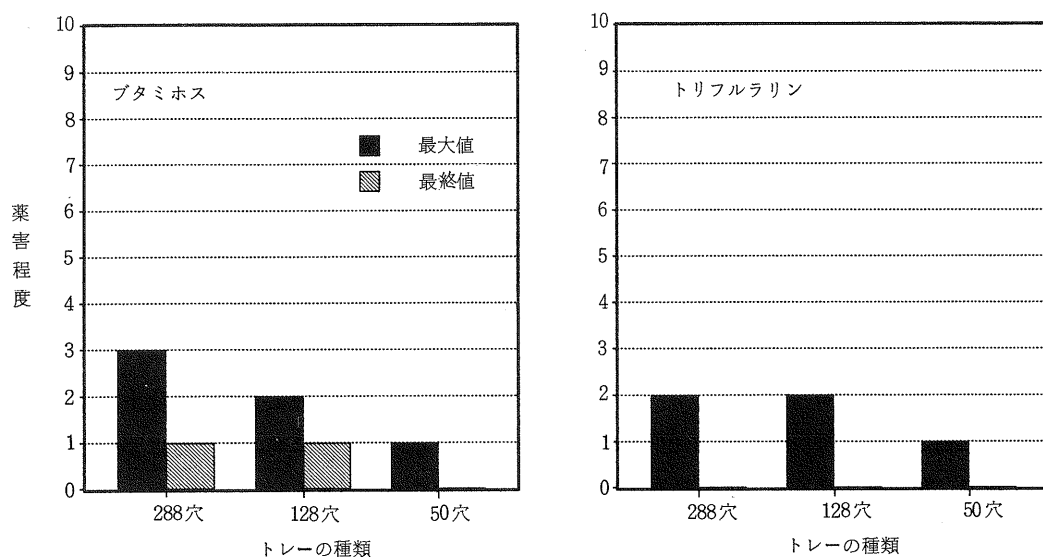


図-1 セル容量の大きさと被害との関係

供試作物: キャベツ (将軍甘藍) 定植と薬剤処理日: 7月5日 移植時の葉齢: 3葉
 供試薬剤: ブタミホス乳剤 80ml/a トリフルラリン乳剤 60ml/a
 被害の程度: 0: 無害~10: 枯死

表-1 移植時のキャベツ葉齢と被害との関係

葉令	供試薬剤	プラグトレー	定植時の草丈	薬害		症状
				最大	最終時	
2葉期	ブタミホス乳 40ml/a	288穴	11.8 cm	0	0	なし
		128	10.0	0	0	なし
		50	10.3	0	0	なし
	トリフルラリン乳 30ml/a	288	11.8	0	0	なし
		128	10.0	0	0	なし
		50	10.3	0	0	なし
3葉期	ブタミホス乳 40ml/a	288	13.3	2	0	生育抑制
		128	16.3	2	0	生育抑制
		50	18.5	1	0	生育抑制
	トリフルラリン乳 30ml/a	288	13.3	0	0	なし
		128	16.3	0	0	なし
		50	18.5	0	0	なし
4葉期	ブタミホス乳 40ml/a	288	14.8	3	2	生育抑制
		128	19.5	3	1	生育抑制
		50	19.5	2	0	生育抑制
	トリフルラリン乳 30ml/a	288	14.8	2	0	生育抑制
		128	19.5	2	0	生育抑制
		50	19.5	1	0	生育抑制

注) 栽培条件

供試作物(品種): キャベツ(味春) 播種: 5/7 薬剤処理: 移植直前
 移植(ポット): 5/25~6/13 移植時のキャベツの葉齢: 2葉期, 3葉期, 4葉期
 薬害程度調査: 0: 無害~10: 完全枯死

型苗を用い、ブタミホス通常使用量の2倍量を投与して調べた。その結果、セル容量が小さい方が薬害がしやすい傾向があることが確認された(図-1)。セル容量が小さいほど苗も小型であると考えるのが普通であり、やはり、小さな苗は除草剤に弱いと考えられるだろうか。兵庫農総試の竹川はトリフルラリン、ペンディメタリン、ブタミホスなどの抑制型除草剤はセル容量が小さいほど抑制が多く出る傾向があることを指摘しており、また一方地床苗でも同様に抑制がみられ、セル成型苗との明らかな差はないとしている。この点についてさらに調べるために、同じセルで育てた苗を定植時期を変えてみた。すると、苗令が進むほど、言い換えれば苗が大きくなるほど薬害がでやすくなる傾向がみられた(表-1)。つまり288穴のセルトレーでも、128穴のセルトレーでも、50穴のセルトレーでも同様に令の進んだ苗で薬害が出やすくなった。どうもセル成型苗の除草剤の薬害は野菜の大きさや苗令との関係だけで起こるのではないようである。

セル成型苗では苗の令が進むと管理の具合により、根がセルの中で必要以上に育ち、形成した根鉢の表面を覆うようになる。このような現象はセル成型苗に限ったことではなく、普通の苗でも管理によっては見られる現象である。根鉢を覆う根の被度と薬害の関係をブタミホス、トリフルラリンを供試して調べたところ、キュウリのセル成型苗では根鉢の表面の3割以上を根が覆うと症状が現れ、7割以上になると生育抑制が1ヶ月後まで残る結果となった(図-2)。住友化学の研究所で根の露出程度を人為的に調節して、薬剤との接触と薬害との関係をキャベツのセル成型苗(128穴)を供試して調べた。その結果根鉢を土で覆い露出をなくした苗や根鉢

に根があまり露出していない苗では薬害がみら

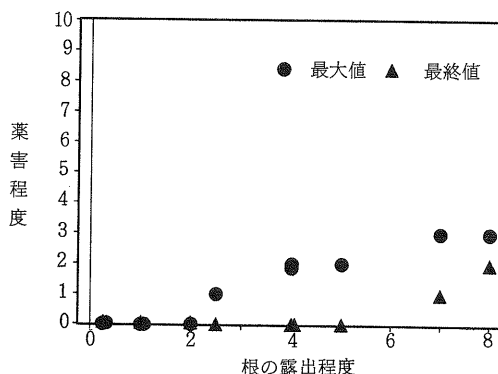


図-2 根の露出程度と薬害程度の関係

栽培条件: 表1と同じ
 供試薬剤: ブタミホス乳剤 40ml/a
 根の露出程度: 根鉢表面全体に占める根の被覆度
 0: 0%~10: 100%
 薬害の程度: 0: 無害~10: 枯死

(処理後21日 地上部茎葉長)

(薬量: f ml/a)

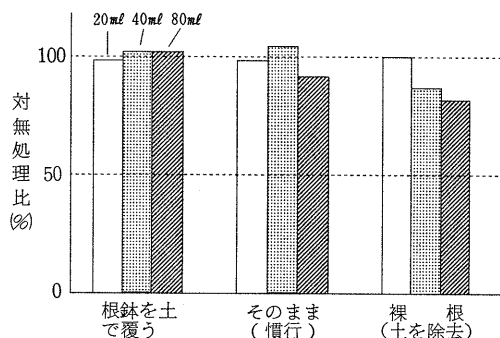


図-3 根部露出程度の違いによる薬害の比較

供試作物: キャベツ(四季穫)
 使用セルトレー: 128穴セルトレー
 供試薬剤: クレマート 50%乳剤
 薬剤処理および移植日: 1994年3月8日
 処理時生育ステージ: 葉齢 本葉2.1~2.2葉、
 草丈13~15cm
 根部露出方法: 根鉢を土で覆う 無処理土(滅菌砂壤土)を根鉢部分に薄く(厚さ2mm程度)まぶし、根部露出を無くして移植。
 そのまま(慣行) 根鉢形成苗を慣行通り移植。
 裸根(土を除去) 根鉢部分の培土を除去し、根部を完全に露出させて移植。

れないのに対して、根鉢部の土をふるい落として、根を露出させた苗では薬害がでることが判った(図-3)。以上のことを考え合わせるとセル成型苗では除草剤による薬害の発生は苗の大小よりは苗の根と薬剤との接触の機会の多少の方が大きな要因になっていると考えられる。

一方、竹川は除草剤による薬害はセル成型苗とか地床苗とかいった苗の種類の違いが関与しているのではなく、苗の生育そのものの善し悪しが薬害に現れることを指摘し、苗の生育の悪い割合がセル容量の小さいセル成型苗では大きく、セル容量の大きいセル成型苗や地床苗では小さいのではと考察している。セル成型苗の生育の善し悪しと薬害との関係については今後さらに検討が必要であろう。

3. セル成型苗の除草剤の適用

—— 圃場試験では ——

次に1994年に各地の試験場で行われた圃場試験について、栽培条件と結果の概略を示した。

・農林水産省野菜・茶業試験場

供試作物(品種): キャベツ(金系201) 定植時2~3葉

作 型: 露地普通

播 種: 3/25 定 植: 4/27

セルトレー: 72穴, 200穴

除 草 剤: ブタミホス乳剤 40ml/a

処理時期: 定植前処理

結果の概要: 除草剤処理とセル容量の小さい場合に生育が若干劣った。

供試作物(品種): レタス(グレートレークス336) 定植時3葉

作 型: 露地普通

播 種: 3/25, 定 植: 4/27

セルトレー: 72穴, 200穴

除 草 剤: ブタミホス乳剤 40ml/a

処理時期: 定植前処理

結果の概要: 除草剤処理でセルトレーの種類に関係なく生育がやや劣ったが、セル成型苗であるが故にその影響が大きいということではなかった。むしろ、セル成型苗の導入による苗の生育促進効果が大きいので、除草剤による若干の生育抑制を補って余りあると考えられる。

・茨城県農業総合センター園芸研究所

供試作物(品種): キャベツ(金系201) 定植時4~5葉

作 型: 夏まき冬どり

播 種: 8/1, 定 植: 9/1

セルトレー: 128穴

除 草 剤: ブタミホス乳剤 20, 40ml/a,

ブタミホス粒剤 400, 600g/a

処理時期: 定植直前, 定植翌日, 定植3日後

結果概要: 定植当日降雨があり、ブタミホス乳剤の40ml/区で生育抑制が認められたが、それ以外の試験区では薬害は認められなかった。

・長野県野菜花卉試験場

供試作物(品種): キャベツ(YRSE) 定植時4~5葉

作 型: 春まき夏どり

播 種: 3/15, 定 植: 4/22

セルトレー: 136穴

除 草 剤: ブタミホス乳剤 20, 40ml/a,

ブタミホス粒剤 400, 600g/a

処理時期: 定植直前, 定植3日後

結果概要: 定植時の埋め戻しで、穴あけ作業時に壊れた薬剤処理層が土壌に混和されて苗の根部に付着することが処女土壌で埋め戻すことで回避できることが判った。しかし、その後の生育や収穫時の収量、品質に差が見ら

れないことから、定植作業によって薬剤が根部に付着する程度であれば薬害は発生しないと考えられた。定植後の処理では収穫不能株が出るほど強い薬害が発生した。

・三重県農業技術センター

供試作物（品種）：キャベツ（若峰）定植時
3～3.5葉

作 型：夏まき

播 種：6/28, 定 植：7/25

セルトレー：128穴

除 草 剤：ブタミホス乳剤 20, 40ml/a,
ブタミホス粒剤 400, 600g/a, トリフルラ
リン粒剤 400, 600g/a

処理時期：定植3日前, 定植直前, 定植3日
後

結果概要：薬害は認められず, 各薬剤とも当
日処理では手取り除草区より多収であった。

・島根県農業試験場

供試作物（品種）：キャベツ（YRしぶき2
号）定植時4.5葉

作 型：夏まき

播 種：7/26, 定 植：8/30

セルトレー：144穴

除 草 剤：ブタミホス乳剤 20, 40ml/a,
ブタミホス粒剤 400, 600g/a, トリフルラ
リン乳剤 20ml/a

結果概要：定植3日前, 定植直前, 直後, 定
植3日後, 各処理区とも可視的な薬害も初期生
育への影響も全く認められなかった。

・鹿児島県農業試験場大隅支場

供試作物（品種）：キャベツ（アーリーボー
ル）定植時2～3葉

作 型：晩夏まき

播 種：8/26, 定 植：9/19

セルトレー：128穴

除 草 剤：ブタミホス乳剤 20, 40ml/a,
ブタミホス粒剤 400, 600g/a, トリフルラ
リン乳剤 30ml/a, トリフルラリン粒剤 500
g/a

処理時期：定植直前, 直後

結果概要：生育初期から収穫まで薬害などの
影響は認められなかった。

4. セル成型苗での利用

——安全に使用できるか——

今回試験を担当した研究者のほとんどはセル
成型苗のために特別な検討を必要としないとい
う意見を持っていた。セル成型苗を適期に定植
すれば問題がない, すでに植調協会の委託試験に
セル成型苗を採用しており, 問題があれば解明し
対応策を講ずれば良いなどがその理由である。
また, 除草剤委託試験においては従来から薬害
に関する検討も十分行っているとの指摘もあっ
た。

生産現場でも現在のところ, セル成型苗で除
草剤が問題になっている例は少ない。また, 実
際にセル容量の小さい288穴トレーを使用して
も薬害等が問題になっていない地域もある。一
方, セル成型苗を使用して初期生育が劣っても,
理解して使用している場合もあるようで, 除草
剤を効率よく利用している農家も少なくない。
小田が指摘するように, セル成型苗の導入によ
る苗の生育促進効果が大きいので, 除草剤によ
る若干の生育抑制を補って余りあると考えるの
であろうか。セル成型苗が最も普及している県
の一つである長野の上杉は通常の管理で育苗し
たセル成型苗であれば定植時に埋め戻す土壌に
混じる薬量程度では問題になる薬害はほとんど
起こらないと試験結果を考察している。各試験
場の圃場試験で薬害ほとんど見られないという

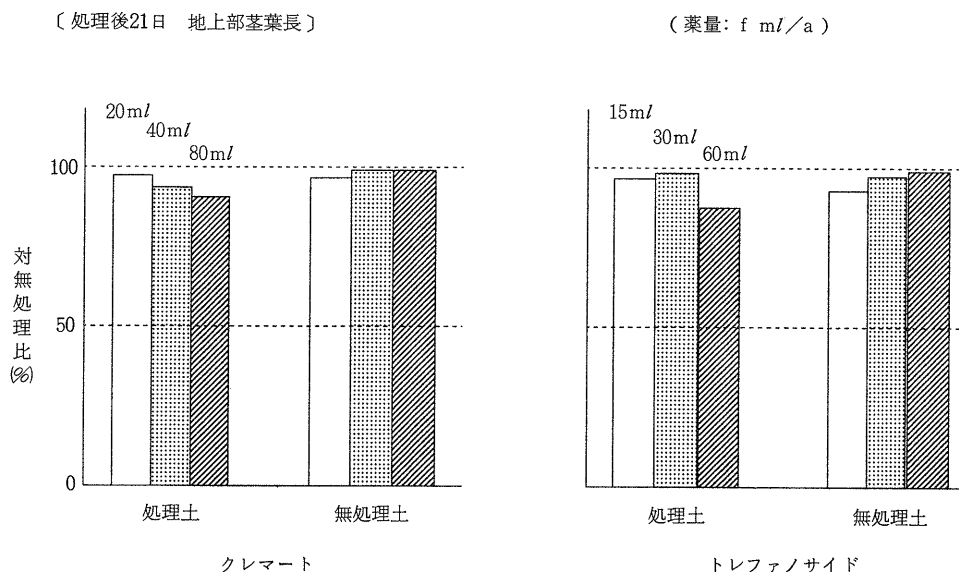


図-4 埋め戻し土壌の影響

供試作物: キャベツ (四季穫)

使用セルトレイ: 128穴セルトレイ

供試薬剤: クレマート 50%乳剤 トレファノサイド 44.5%乳剤

薬剤処理および移植日: 1994年2月2日

処理時生育ステージ: 葉齢 本葉1.9~2.2葉, 草丈11~12cm

埋め戻し方法: 処理土 慣行法, 挿苗後に周辺の薬剤処理層の土壌を埋め戻した。

無処理土 植え穴に周辺の薬剤含有土が混入しないように工夫し, 挿苗後に無処理土を埋め戻した。

結果もその裏付けになるのではないだろうか。住友化学の研究所では定植時の埋め戻す土壌に通常の2倍量のブタミホス(クレマート)が処理されていることでキャベツのセル成型苗に漸く薬害が発生することを確認した(図-4)。

多くの試験結果からセル成型苗というだけで除草剤は危ないという判断はできそうにないことが示唆されているといえよう。

しかし, 除草剤を利用している現場では予期せぬ事態が起こることがよくあり, 自然に起きたことであろうが, 人為的なミスによって起こったことであろうが除草剤が関与していると考えられる問題を無視することは出来ない。また, それらの原因を解明しておくことも必要である。次には薬害の起こりうる可能性について, 住友化学の研究所で試験された例を紹介する。

移植深度の違いによる薬害を128穴セルトレイで育てたキャベツを用いて検討している(図-5-1)。定植前処理の場合, 浅植えや普通植えではブタミホス(クレマート)の薬害は認められなかったが, 深植え(根鉢の上部が周辺土壌より1cm低い)では通常薬量の2倍量区で生育抑制がみられた。深植えの場合, 根鉢の上に薬剤を含んだ周辺の土壌が埋め戻されるため薬害が出やすくなると考えられる。定植後処理の場合にも深植えの場合に薬害が認められた。とくに, キャベツの本葉基部の生長点部分が土壌表面に接するような極端な深植えでは強い薬害が生じた(図-5-2)。

もう一つの例として, 灌水量の違いによる薬害について調べている。128穴セルトレイで育てたキャベツを定植した後, 灌水量を変えて

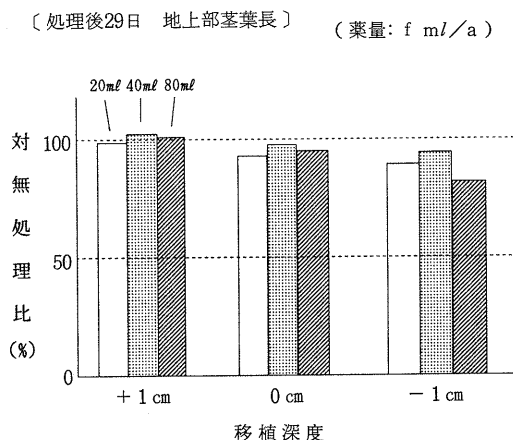


図-5-1 移植深度の違いによる薬害比較 (移植前処理)

供試作物: キャベツ (四季穫)
 使用セルトレー: 128穴セルトレー
 供試薬剤: クレマト 50%乳剤
 薬剤処理および移植日: 1994年5月23日
 処理時生育ステージ: 葉齢 本葉2.1~2.3葉, 草丈14~15cm
 移植方法: 薬剤処理後, 根鉢の上部が地表面から+1cm, 0cmおよび-1cmとなるように植え穴を開けて移植した。移植後は, 周辺の表土で埋め戻した。

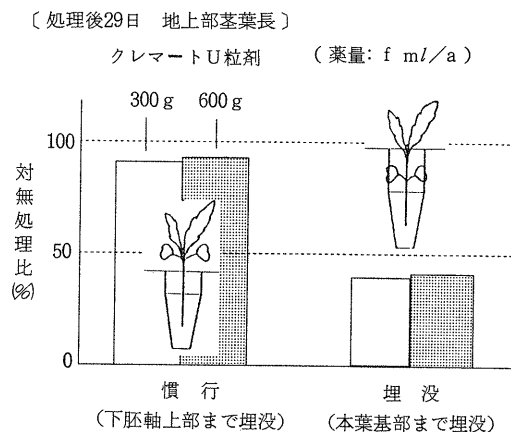


図-5-2 移植深度の違いによる薬害比較 (移植後処理)

供試作物: キャベツ (四季穫)
 使用セルトレー: 128穴セルトレー
 供試薬剤: クレマトU 3%乳剤
 薬剤処理および移植日: 1994年9月16日
 処理時生育ステージ: 葉齢 本葉1.8~2.0葉, 草丈7~8cm

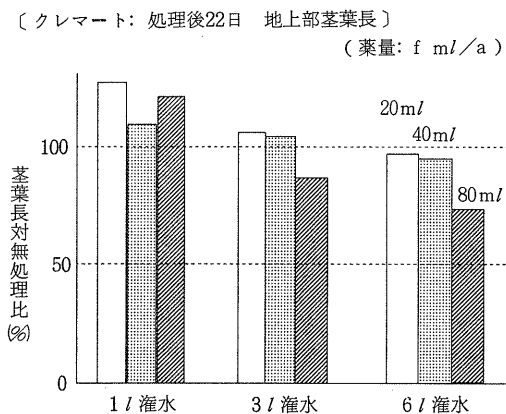
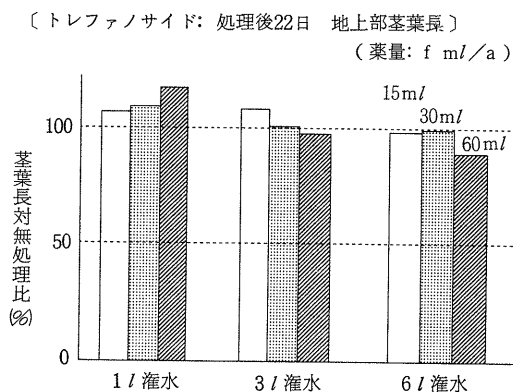


図-6 灌水量の違いによる薬害比較

供試作物: キャベツ (四季穫)
 使用セルトレー: 128穴セルトレー
 供試薬剤: クレマト 50%乳剤 トレファノサイド 44.5%乳剤
 薬剤処理および移植日: 1994年3月30日
 処理生育ステージ: 葉齢 本葉2.5~2.8葉, 草丈13~15cm
 灌水: 1リットル灌水 1mm/日 (0.5mm×2回/日としてジョウロで均一に灌水)
 3リットル灌水 3mm/日 (1.0mm×3回/日としてジョウロで均一に灌水)
 6リットル灌水 6mm/日 (2.0mm×3回/日としてジョウロで均一に灌水)



育てた場合、ブタミホス、トリフルラリンともに土壤水分が過湿になる条件では生育が抑制された(図-6)。

5. お わ り に

——セル成型苗の普及の支えに——

抑制型除草剤を中心に、セル成型苗に対する安全性について検討した結果の概略を紹介した。土壤や育苗用土などの問題には触れなかったが検討の余地はある。抑制型除草剤のような生長が盛んな部位に作用する薬剤では、根や生長点に薬剤が接触しないかぎり薬害は生じない。このような薬剤では適切な苗作り、定植によってセル成型苗の栽培で除草剤を安全に有効に使用できるということが結論であろう。

だが、現在のセル成型苗は従来の移植苗に比べ、良い苗質を保つことは難しいことも確かであり、すでに述べたような問題を十分配慮し、使用上の注意をより遵守することが除草剤の利用でのトラブルをなくすることになる。セル成型苗の普及を除草剤が妨げにならないようにするのではなく、促進するようにしたい。また今後、セル成型苗の普及にともないセル成型苗の特徴である大量育苗、輸送の容易さから育苗と

生産が分離する傾向がさらに強まると考えられる。育苗期間、は種から定植までの間の苗質を維持することが除草剤利用という面からも重要になってくるであろう。

最後に、研究会を開催するにあたり、取りまとめたいただいた野菜・茶業試験場の小田室長をはじめ専門調査員の方々、試験を担当された試験場の研究者の方々、また、色々のご尽力くださったクレマート普及会の方々、そして植調協会の関係者に深く感謝の意を表する次第である。

参 考 文 献

- 1) 平成6年度セル成型苗に対する除草剤の適用性についての研究会、資料 平成6年12月(財)日本植物調節剤研究協会。
- 2) キャベツのセル成型苗移植栽培におけるクレマートの作用性 平成6年12月 ㈱住友化学工業農業化学品研究所。
- 3) 小田雅行(1994): セル成型苗生産の現状と問題点. 植調28(3) 106~111.
- 4) 菅沼健二(1992): キャベツの省力栽培技術セル成型苗の利用について. 今月の農業 1992年6月号 48~52.
- 5) 時枝茂行(1993): セル成型苗の生育制御技術. 今月の農業 1993年11月号 64~71.

芝生の造成と管理 —芝草管理者のために—

眞木芳助／編集

B5判 定価20,000円(税込)

環境保全のための資源として芝生の需要が増している。本書は芝生の造成から管理にいたる芝生づくりのすべてをゴルフ場の例を中心に分かりやすく解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665

新発売

最初がかんじん!!

**10アール当り
1kgの散布**

特 長

- ノビエ、ホタルイをはじめ各種多年生雑草に有効。
- 初期除草剤、体系処理の前処理として安定した効果。
- 10アール当り1kgの散布で安定した除草効果。
- 土壌条件などの影響が少なく全地域で安心して使える。

ノビエからホタルイまで、体系除草の初期剤として、また一発処理の前処理剤として、安定した効果。

しかもコンパクトな1キロ粒剤です。

水田初期除草剤

パデ^oホープ^o1 **1キロ粒剤**



JAグループ

農 協



経済連

®は登録商標です



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本 社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-91 TEL03(3822)5131

①使用前にはラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③小児の手の届く所には置かないでください。

水稲用フロアブル剤と水管理について

最近では散布方法の簡便さが認識され水稲用フロアブル剤の利用が高まりつつある。平成7年度においては7種類フロアブル剤が使用され、それらの出荷量からの計算によると約47万haに普及されていることになる。同年の水稲作付面積が210万6千haであるところから、約22%に使用された計算となる。

さてこのフロアブル剤やジャンボ剤の登録・上市、また現在の1キロ粒剤よりさらに拡散性の高い粒剤等が開発されている現状において、これら水中における拡散性の高い製剤を使用するにあたり、散布の容易さが追究されている反面、確実な除草効果を発現させるためには水管理がより大きな要因となる。

しかしながらフロアブル剤について一般に記載されている使用上の注意としては「散布後3～4日間は3～5cm程度の水深を保ち、落水やかけ流しを行わない」としてあり、これでは間違いではないものの、粒剤使用における水管理の注意事項と同様であり、もう少し詳細な情報が欲しいという現場指導者からの声が寄せられている。

そこでいくつかの薬剤による試験例から、フロアブル剤など水中拡散性の高い製剤と現行の粒剤との田面水中濃度の変化について、特定はできないもののモデル化して表わしたものが左図である。

粒剤の場合は各々の有効成分によって製剤処方異なるため、それぞれ有効成分の溶出パターンは変化する。それにより水中濃度のピークも時間に差異があり、このことによって田面水中濃度の推移は異ってくるばかりか、土壌条件によってもさらに変化するため、すべての薬剤が図に示したパターンとなるとは限らず、あくまである条件下における参考事例として理解して頂きたい。

フロアブル剤の製剤処方は、一般に原体粒子

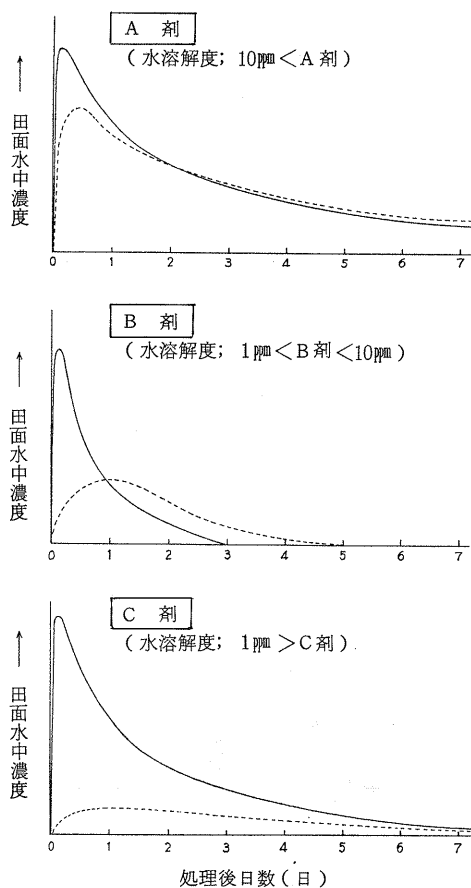


図-1 有効成分の田面水中濃度の変化

—— フロアブル剤
 粒 剤

をより細かく粉碎し水に懸濁させ、さらに界面活性剤等により水中における拡散性を高めるようにいろいろ工夫されている。したがって図からもわかるように有効成分の水溶解度の大小にあまり関係ない水田水中濃度の推移パターンとなっている。すなわちいずれの場合でも試験結果としては、散布後3～8時間で水中濃度は最大値を示し、その後速やかに減衰して行く。2～3日後ともなると一般に粒剤の場合と同程度の水中濃度となり、以後剤型間に特に大きな差は無く減少して行く経過をたどる。

ここでいずれにおいても共通していることは、フロアブル剤の場合、処理(直)後の水中濃度が粒剤に較べ極めて高くなることである。したがって処理当日(処理後24時間以内)に田面水の流亡がある場合には、有効成分の殆んどが水田外に流出されてしまう恐れがあり、そのため除草効果が十分に発揮されなくなることが容易に推測される。例え一時的な効果はみられたとしても、抑草期間が短くなるなどの影響があると考えられる。

結論としてフロアブル剤、ジャンボ剤など水田水中の拡散性を高め、散布の容易化を図った剤型を使用する場合には、散布前および散布当日からの水管理が重要な要因となる。このような剤型の使用に当たっての基本は、①薬剤を処理する前に水田の水尻をきちんと止水し、②薬剤が水田全体に行き渡るよう圃場の均平化を図るとともに、③水深3～5cmとやや深めに湛水し(田面の露出部分が無いよう)、④さらに畦畔からの水の流出がないよう補修、確認しておくことが大切である。

また散布当日ばかりでなく、2日目以降も水中に溶けている薬剤の濃度はまだ比較的高い状態で推移するため、水中濃度が十分低くなる処

理後5日間位は引き続き水管理に留意しておくことが除草効果を十分に発揮させるためにも重要であり、そしてこのことはこれまでの水管理について注意事項に記載されている通りである。

フロアブル剤の散布方法は上記のように湛水状態の水田に散布することを基本としているが、このほか一部の薬剤で実用化されている方法として水口処理法がある。これは入水時に水口に薬剤を一括処理し、流入する水の勢いにのせて薬剤を水田全体に拡散させるものであり、拡散性に優れた特性を利用した応用的な処理方法である。これまでの試験結果からこの方法が利用できる条件として、①均平度の高い水田であること、②30a水田の場合6時間以内に5～6cmの湛水深が確保可能な安定した用水が供給できる水田であること、③処理時(入水時)の水深はひたひた状態や浅い湛水状態でも問題はないが、新たに3～4cm以上の水深となる水量を補給する場合などの条件を満たした場面で使用可能と考えられている。

したがってこの水口処理においても水尻はしっかり止めておくことは当然として、入水後の水が溢れ出ないうちに止水することも大切なことである。

以上、フロアブル剤、ジャンボ剤など水中における拡散性が高い製剤について特に当日からの水管理が重要であることを記したが、粒剤についても基本的には変わりなく、除草剤の効果を十分に発現させるためには、また河川への薬剤の流出を避けるためにもより一層の田面水の水管理について配慮し、有効な利用を心懸けて頂きたい。

(財)日本植物調節剤研究協会 技術部

ciba

1キロ革命

1反=1キロ=1袋!! ラクラク散布で優れた効果



ソルネットだから、**優れた特長** ●「10アールあたり1キロの散布」で、ノビエやホタルイに安定効果。
1キロ粒剤だからの ●軽量・小型だから「散布効率が大幅アップ」「持運び・保管が容易」。
●省資源化をめざした「新製剤技術」で、優れた拡散性とムラのない効果。

効きめと能率性で一発剤とベストマッチング

ソルネット® 1キロ粒剤

ソルネット普及会：クミアイ化学工業株式会社・武田薬品工業株式会社

事務局：日本チバガイギー株式会社

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル34F 〒105 TEL.03-3435-5252

® = スイス国、チバガイギー・リミテッド登録商標

除草剤の
パワーが生きる  水管理。

- ①水尻止めて漏水防ぐ畦チェック
- ②落水・かけ流し禁止、散布後4日間
- ③まめに水足し、水深保つ心がけ

ciba

水田の初期除草

乳剤ならエリジャン。



使ってカンタン、効果に感嘆 !!

均平作業後に手振り散布で！

エリジャン乳剤の優れた特長

■水田の初期剤としてノエビ・ホタルイ等に安定した効果。■手振り散布でラクにムラなく散布OK。
■散布後は素早く拡散、速やかに土壌吸着。(澄水時もOK。)■持ちやすい、まきやすい独特の形状と材質のボトル。■低コストの新乳剤。

水田初期除草剤

エリジャン® 乳剤

® スイス国、チバガイギー・リミテッド登録商標 (プレチラクロール12%)

エリジャン普及会

販売：クミアイ化学工業株式会社・武田薬品工業株式会社・株式会社トモノアグリカ

事務局：日本チバガイギー株式会社

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル34F〒105

TEL 03-3435-5252

除草剤の

パワーが生きる



水管理。

- ① 水尻止めて漏水防ぐ畦チェック
- ② 落水・かけ流し禁止、散布後4日間
- ③ まめに水足し、水深保つ心がけ

平成 7 年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 7 年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成 7 年 12 月 6～7 日の 2 日間、植調会館会議室において開催された。なお、適 1 試験は、平成 7 年 10 月 5 日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第 1 次適用性試験 (適 1) 成績について

平成 7 年度の適 1 試験は、北海道地域 (植調北海道試験地)、東北地域 (植調古川試験地)、北陸地域 (植調新潟第 1 試験地)、関東地域 (植調研究所)、近畿地域 (植調滋賀試験地)、中国地域 (植調広島試験地)、九州地域 (植調佐賀試験地) の全国 7 地域で 51 薬剤 (のべ 279 点) について実施した。その判定結果は、第 1 表のとおりである。

2) 第 2 次適用性試験 (適 2) 成績について

平成 7 年度の適 2 試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理 (Ⅱ-1, 3 剤 17 点)、移植前後土壌処理 (Ⅱ-2, 11 剤 184 点)、移植後土壌処理 (Ⅱ-3, 18 剤 262 点)、茎葉兼土壌処理 (Ⅱ-4, 3 剤 31 点)、適用時期拡大 (Ⅱ-5, 6 剤 51 点)、特殊雑草防除 (Ⅱ-6, のべ 65 剤 139 点)、湛水直播栽培用 (Ⅲ-1, 4 剤

30 点)、乾田直播栽培用 (Ⅲ-2, 4 剤 11 点)、畦畔雑草用 (Ⅳ, 12 剤 80 点)、耕起前雑草用 (Ⅴ, 5 剤 19 点)、不耕起栽培移植・播種前雑草対象 (Ⅴ, 6 剤 16 点)、初期一発処理剤 (Ⅶ-1, 27 剤 231 点)、初・中期一発処理剤 (Ⅶ-2, 65 剤 770 点)、長期持続型一発処理剤 (Ⅶ-3-(1), 4 剤 57 点)、一年生持続型除草剤 (Ⅶ-3-(2), 2 剤 30 点)、少量散布 (Ⅷ, 7 剤 42 点) の総のべ点数が 1,970 点であった。これら適 2 試験の判定結果は第 2 表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成 7 年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理 (Ⅱ-2, 1 剤 15 点)、移植後土壌処理 (Ⅱ-3, 2 剤 8 点)、茎葉兼土壌処理 (Ⅱ-4, 1 剤 11 点)、適用時期拡大 (Ⅱ-5, 1 剤 12 点)、特殊雑草防除 (Ⅱ-6, のべ 1 剤 4 点)、一発処理剤 (Ⅶ, 5 剤 56 点)、長期持続型一発処理剤 (Ⅶ-3-(1), 2 剤 35 点)、一年生持続型除草剤 (Ⅶ-3-(2), 1 剤 14 点) の総のべ点数が 155 点であった。これら適用性試験の判定結果は第 3 表のとおりである。

第1表 平成7年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

注) 判定欄の記入については、◎;極めて有望, ○;有望, □;可能性あり, △;再検討, ×;見込みなし, を表す。

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1	AC-014A-1kg 粒 [日本サイナミット]	AC-140:0.6 KPP-314:4.5	◎	○	○	□	○	□	□	長期持続型一発処理剤として ○(北海道~中国) △(九州) 効果, 薬害の検討
2	AC-014F-1kg 粒 [日本サイナミット]	AC-140:0.6 エス [®] ロカル [®] :15.0 プレチクロール:4.5	○	○	◎	○	○	□	△	初・中期一発処理剤として ○(北海道~関東) □(近畿~九州) 薬害の要因説明(温度との関係について)
3	AC-014M フロアブル [日本サイナミット]	AC-140:1.2 MY-100(未):1.2	○	○	○	○	○	○	△	初・中期一発処理剤として ○(北海道~中国) △(九州) 効果, 薬害の検討
4	CGM-15①-1kg 粒 [ロ・ヌ・フ・ラン油化]	プレチクロール:4.0 クロマフロップ [®] :3.0	◎	○	○	□	○	○	△	移植後土壌処理剤として ○(北海道~中国) □(九州) 効果, 薬害の検討 おたけに対する効果の確認
5	CH-904 フロアブル [永光化成]	CH-900:4.2 ヘンズルフロンメチル:1.4 DEH-112:3 タイムロン:8.0	□	◎						初・中期一発処理剤として □ 薬害についての検討 おたけへの効果確認
6	CH-904① フロアブル [永光化成]	CH-900:4.2 ヘンズルフロンメチル:1.0 DEH-112:3 タイムロン:8.0			○	○	○	◎	○ □	初・中期一発処理剤として □ 薬害についての検討 おたけへの効果確認
7	DKH-951-1kg 粒 [デュポン]	既知(3種) :0.3+0.06+10	○	□						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
8	DND-950 フロアブル [デュポン]	ピリ [®] フ [®] チカル [®] :10 ヘンズルフロンメチル:1.4 メフェナセト:8.0	○	○						初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
9	DND-950① フロアブル [デュポン]	ピリ [®] フ [®] チカル [®] :10 ヘンズルフロンメチル:1.0 メフェナセト:8.0			○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
10	DPX-84ND フロアブル [北興化学]	ニルクロール:4.2 DEH-112:3.6 ヘンズルフロンメチル:1.4	□	○						初・中期一発処理剤として □ 製剤の検討
11	DPX-84ND① フロアブル [北興化学]	ニルクロール:4.2 DEH-112:3.6 ヘンズルフロンメチル:1.0			○	△	○	○	□	初・中期一発処理剤として □ 製剤の検討
12	HSA-951-1kg 粒 [ヘキスト]	HJ-9301:2.0 Hoe-404:0.12	◎	□	○	○	○	□	○	移植後土壌処理剤として ○ おたけは再検討
13	KPP-314① フロアブル [科研製薬]	KPP-314:2.9	◎	○	○	□	○	◎	□	移植前後土壌処理剤として ○ 効果, 薬害の確認

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
14	KPP-314-1kg 〔科研製薬〕	粒 KPP-314:1.5	○	○	○	□	○	○	□ △	移植前後土壌処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
15	KUH-951-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 KUH-920:0.6 ベンズルフロメチル:0.3 アゾムスルフロ(DPX-47) :0.06 メフェナセト:4.5 タムロン:4.5	○	◎						初・中期一発処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
16	KUH-952-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 既知A:0.3 既知D:0.8 既知B:1.8 既知E:1.2 既知C:0.06	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
17	KUH-956-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 KUH-920:0.45 ベンズルフロメチル:0.51 メフェナセト:4.5 タムロン:4.5			○	○	○	◎	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
18	KUH-958 〔クミアイ化学〕	フロアブル KPP-314:4.0 フロモフチド:18.0	◎	○	○	○	○	◎	◎	移植前後土壌処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
19	MK-243D 〔三菱化学〕	フロアブル MK-243:3.0 ベンズルフロメチル:1.4	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
20	MK-243D ^① 〔三菱化学〕	フロアブル MK-243:3.0 ベンズルフロメチル:1.0			○	□	○	○	○ □	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
21	NBA-071-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 ヒラゾスルフロエチル:0.3	○	○	○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として ○ 製剤の検討
22	NBA-072-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 ベンズルフロメチル:0.3 アゾムスルフロ(DPX-47) :0.06	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
23	NBA-073-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 イマゾスルフロ:0.9 タムロン:10	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	初・中期一発処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
24	NBA-074-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 AC-140:0.6 タムロン:4.0	○	◎	○	○	○	○	○	初期一発処理剤として ○ 製剤の検討 効果, 薬害の確認
25	NBA-075 〔日本バイエル〕	フロアブル NBA-061:40g/1 AC-140:12g/1 タムロン:80g/1	○	○	◎	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
26	NBA-076a-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 ベンズルフロメチル:0.75	◎	○						初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
27	NBA-076b-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 ベンズルフロメチル:0.51 タムロン:4.5			○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
28	NC-339 〔日産化学〕	顆粒水和 ピラゾスルフロンエチル:5.25 MK-243:37.5	◎	○	○	○	○	□	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
29	NC-367-1kg 〔日産化学〕	粒 ピラゾスルフロンエチル:0.3 既知1:15.0 既知2:6.0	○	○	○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
30	NC-368-1kg 〔日産化学〕	粒 ピラゾスルフロンエチル:0.3 エスフロカルブ:21.0 KPP-314:2.0	△	□	□	□	○	○	○	初・中期一発処理剤として △(北海道) □(東北～北陸) ○(関東～九州) 薬害の再検討
31	NSK-850 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0	□	□	○	□	○	○	□	移植前後土壌処理剤として □ 効果, 薬害の検討
32	NSK-858① 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 ピリフチカルブ:10.0 ペンシルフロノメチル:1.0			○	○	○	○	○ □	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
33	NSK-859 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 ダィムロン:28.0	○	□	○	○	○	○	△	移植前後土壌処理剤として □ オキズンに対する効果の確認
34	NSK-862 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 クミルロン:20.0	○	□		○				移植前後土壌処理剤として □ 効果の検討
36	RYH-109 〔ロース・フーロン油化〕	フロアブル 新規(未):1.2	○	□	○	△	□	○	△	移植前後土壌処理剤として ○(北海道) □(東北～九州) 薬害の検討
37	RYH-110-1kg 〔ロース・フーロン油化〕	粒 MY-100(未):0.8 ピラゾスルフロンエチル:0.3	○	○	○	○	○	□	□	○(北海道～関東) □(近畿～九州) 効果, 薬害の検討(温度反応)
39	RYH-115 〔ロース・フーロン油化〕	フロアブル フレチラクロール:5.0 ベンゾフェナック:12.0	○	○	○	○	○	◎	□	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
40	S-28-1kg 〔住友化学〕	粒 ブタミス:12.0	○	○	○	□	◎	○	□	移植後土壌処理剤として □ オキズンに対する効果の確認
41	S-889-1kg 〔住友化学〕	粒 ブタミス:7.0 ブモブチド:6.0	◎	○	○	○	○	○	□	移植後土壌処理剤として ◎(北海道) ○(東北～九州)
42	SB-533 〔エス・デー・エス〕	フロアブル 未公開(2種):12 (W/V)	□	□	○	○	○	○	○	一年生持続型除草剤として □(北海道) ○(東北～九州) 効果の持続性について

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
43	SB-534 [エス・デー・エス]	フロアブル 未公開(2種):10 (W/V)	△	□	○	○	○	○	△	一年生持続型除草剤として △(北海道) □(東北～九州) 効果の持続性について
44	SL-498E-1kg [石原産業]	粒 ビラジキソフェン:10 プレチクロール:3.0 シメトリン:1.0	○	○	○	□	○	○	□	移植後土壌処理剤として ○(一年生及び3ヶ月対象) 効果、薬害の確認
45	TH-951 [武田薬品]	フロアブル イマゾスルフォン:1.5 ビラジキソフェン:10 メフェナセト:8.0 タライモン:18	○	○	○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果、薬害の確認
46	YH-570 [八洲化学]	フロアブル ビラジキソフェン:12.0 AC-140:1.2	□	□	○	○	○	○	△	初期一発処理剤として □ 製剤の検討 効果、薬害の検討
47	YH-577-1kg [八洲化学]	粒 既知1:24.0 既知2:3.3 既知3:2.4		○		○				茎葉兼土壌処理剤として ○ 効果、薬害の確認
追 48	NSK-863 [トクヤマ]	フロアブル テニクロール:4 クロメプロップ:6	○	□	□	□	○	□	□	移植後土壌処理剤として □(一年生及び3ヶ月対象) 薬害の検討
追 49	CDS-941 [永光化成]	フロアブル CH-900:5.5 ペンシルワロンメチル:1.4 タライモン:10	○							初・中期一発処理剤として ○ 効果、薬害の確認
追 50	CDS-941① [永光化成]	フロアブル CH-900:5.5 ペンシルワロンメチル:1 タライモン:10				□		◎	□	初・中期一発処理剤として □ 効果変動の確認
追 51	MC-79①-1kg [八洲化学]	粒 ビフェノックス:16%	□	○	○	□	○	◎	□	移植前後土壌処理剤として □ 効果、薬害の検討

改訂 雑草学用語集

日本雑草学会／編集・発行
B5判 234頁 定価7,210円(税込)

雑草を研究する上で必須の文献として高い評価を受けてきた旧版を大幅に改訂。雑草学研究に必要な用語はこれ1冊でこと足りるよという編集方針のもとに、第I編 学術用語編では現時点で必要な用語、解説用語を新たに選び直した。さらに第II編 雑草名編では新たに100種を追加し、第III編 除草剤名編では新たな薬剤も加え、わが国で登録されたことのある薬剤すべてを網羅した。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

第2表 平成7年度水稲関係除草剤適2試験成績判定結果一覧

判 定 区 分	実 績	継	継 ?
II-1. 移植前土壌混和処理	CG-113乳, RPC-208乳, TCG-128乳.		
II-2. 移植前後土壌処理	CG-113-1kg粒, KPP-314㊟ フロアブル, KPP-314-1kg粒, KUH-942-1kg粒, MC-79㊟- 1kg粒, SB-528フロアブル, SL -970フロアブル, X-52-1kg粒, YH-411-1kg粒.	NSK-850フロアブル, MSK- 859フロアブル.	
II-3. 移植後土壌処理	CG-113乳, DH-945フロアブル, S-28-1kg粒, S-889-1kg粒, SB-529-1kg粒, SB-530-1kg 粒, SL-498E-1kg粒, TSM- 612フロアブル, TSR-121フロア ブル, Y-873粒, YH-3-1kg粒, YH-562フロアブル.	CGM-15㊟-1kg粒, HSA-951 -1kg粒, KUH-958フロアブル, RYH-115フロアブル, MSK- 863フロアブル.	RPC-208 乳.
II-4. 茎葉兼土壌処理	DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), MKS-245水和.		
II-5. 適用時期拡大	DEH-112乳(ME), DEH-112 -1kg粒, DEH・BAS乳(ME), MKS-245水和, NS-177粒, モリネートSM-1kg粒.		
II-6-(1) クログワイ対 象	DEH・BAS乳(ME), DPX-47 MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47 TD-1kg粒, DPX-84MN㊟-1kg 粒, NC-311HW-1kg粒, TDS- 888フロアブル, TDS-888㊟フロ アブル.	CH-904D-1kg粒, CH-904K- 1kg粒, CDS-941フロアブル, CDS-941㊟フロアブル, KUH- 931-1kg粒, KUH-936B-1kg 粒, MK-243DS-1kg粒, MKS- 245水和, YH-3-1kg粒, DPX- 84MN-1kg粒.	
II-6-(2) オモダカ対象	DEH・BAS乳(ME), DPX-47MN -1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47 TD-1kg粒, KUH-888-1kg粒, DPX-84MN㊟-1kg粒, NC-311 HW-1kg粒, TDS-888フロアブ ル, TDS-888㊟フロアブル.	CH-904K-1kg粒, CDS-941フ ロアブル, CDS-941㊟フロアブル, MK-243DS-1kg粒, NC-311T -1kg粒.	
II-6-(5) シズイ対象	CH-904K-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), DPX-47ND-1kg粒, NC-311KP-1kg粒.	YH-3-1kg粒.	

判 定 区 分	実 ・ 続	続	続 ?
II-6-(6) エゾノサヤヌ カグサ対象	CH-904K-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), DPX-47ND-1kg粒, HSW-941-1kg粒, KUH-931- 1kg粒, NC-311KP-1kg粒, TDS-888フロアブル, TH-913 ADE-1kg粒.		
II-6-(7) クサネム対象	NSK-855フロアブル.	NSK-855㊦フロアブル, TDS- 888㊦フロアブル.	
II-6-(8) コウキヤガラ 対象	CH-904K-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), DPX-47ND-1kg粒, DPX-84MN㊦-1kg粒, NC- 311T-1kg粒, NC-329-1kg粒, SKH-8602㊦粒, TH-913HSK -1kg粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913STフロアブル.	CH-904D-1kg粒.	
II-6-(9) そ の 他		DPX-84MN㊦-1kg粒(キシウ スズメノヒエ), NC-329-1kg粒 (タウコギ), TDS-888フロアブ ル(タウコギ)	
III-1. 湛水直播	DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), KUH-883㊦-1kg粒.	SW-HW-1kg粒.	
III-2. 乾田直播	DEH-112乳(EW), DEH・BAS 乳(ME), HW-932乳, KUH- 911液.		
IV. 畦畔雑草	PR-084液, BGX-816水溶, MON-93A液. Hoe-866-3H水和, KUH-913液.	NC-302㊦フロアブル, NH-401 フロアブル, SC-224液, WOC- 01液, WOC-02液, NH-501フ ロアブル.	
V. 耕起前	SC-224液, ULV-03液, WOC- 01液, MW-851液(不耕起移植), SC-224液(不耕起移植), YF- 65㊦液(不耕起移植), SC-224 液(不耕起直播), グリホサート液 (不耕起直播), MON-8794液, グリホサート液(不耕起移植).	WOC-02液.	
VII-1. 初期一発処理剤	HJ-941-1kg粒, HSW-941-1 kg粒, KPP-932フロアブル, KPP-932-1kg粒, NC-311CG -1kg粒, NC-311KP㊦顆粒水和, NC-311KP-1kg粒, NSK-855 フロアブル, NSK-855㊦フロアブ ル, SL-970フロアブル, TDS- 888フロアブル, TDS-888㊦フロ	DND-950フロアブル, DND-950 ㊦フロアブル, NBA-074-1kg粒, NBA-075フロアブル, NBA-076 a-1kg粒, NBA-076b-1kg粒, TH-951フロアブル.	

判定 区分	実 績	継	継 ?
Ⅶ-1. 初期一発処理剤 (つづき)	アブル, TH-913ADS㊟粒, TH-913ADS㊟-1kg粒, TH-913 HSK-1kg粒, TH-913STフロアブル, YH-570フロアブル, SL-498-1kg粒.		
Ⅶ-2. 初・中期一発処理剤	AC-014E-1kg粒, AGH-925-1kg粒, CH-904フロアブル, CH-904㊟フロアブル, CH-904D-1kg粒, CH-904K-1kg粒, CH-906㊟-1kg粒, CH-907-1kg粒, CH-908-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84SC㊟-1kg粒, DPX-84TD㊟-1kg粒, HJ-942-1kg粒, DPX-84MN㊟-1kg粒, HJ-943-1kg粒, HJ-946-1kg粒, KUH-883-1kg粒, KUH-883㊟-1kg粒, KUH-931-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, KUH-936C-1kg粒, KUH-951-1kg粒, KUH-956-1kg粒, MK-243D㊟-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, NBA-941-1kg粒, NBA-942a-1kg粒, NBA-942b-1kg粒, NBA-943-1kg粒, NC-311DCD-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311SC㊟-1kg粒, NC-329-1kg粒, NC-339-1kg粒, NC-355顆粒水和, NC-365-1kg粒, NC-366-1kg粒, NCH-903DEH-1kg粒, NTN-831-1kg粒, TH-913ADE-1kg粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913SSC粒, CDS-941フロアブル, CDS-941㊟フロアブル.	AC-014F-1kg粒, DKH-951-1kg粒, DPX-84NDフロアブル, DPX-84ND㊟フロアブル, KUH-952-1kg粒, MK-243Dフロアブル, MK-243D㊟フロアブル, NBA-071-1kg粒, NBA-072-1kg粒, NBA-073-1kg粒, NC-339顆粒水和, NC-367-1kg粒, NC-368-1kg粒, NSK-858フロアブル, NSK-858㊟フロアブル, RYH-102-1kg粒, RYH-103フロアブル.	
Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤	AC-014A粒, AC-014A㊟粒, AC-014C-1kg粒.	AC-014A-1kg粒.	
Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤	CH-902-1kg粒, CHG-948-1kg粒.		
Ⅷ-1. 少量散布法	NC-311SC㊟-1kg粒, SL-498-1kg粒.	SL-498㊟-1kg粒.	
Ⅷ-2. 少量散布	CGM-71フロアブル, TCG-128乳, TSR-121フロアブル.		

注) IV畦畔雑草対象のMON-8794液剤は翌春の効果の調査結果を含めて判定をする。

本年度の効果と翌春の効果とを併せて判断するため判定は保留する。

第3表 平成7年度水稻除草剤ジャンボ剤

判 定 区 分	実 ・ 継	継	継 ?
II-2. 移植前後土壌処理	KPP-2005.		
II-3. 移植後土壌処理	AKD-7036, CG-113.		
II-4. 茎葉兼土壌処理	DEH-112.		
II-5. 適用時期拡大	DEH-112.		
II-6-(1) クログワイ対象	JC-940.		
VII. 一発処理剤	<u>SW-951</u> , <u>SW-951</u> ①.	NCG-370, SW-952, SW-952 ①.	
VII-3-(1) 長期持続型一 発処理剤	<u>AC-140</u> , <u>AC-014C</u> .		
VII-3-(2) 一年生持続型 除草剤	<u>AC-140</u> ①.		

注: 1) 本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「継?」と判定された薬剤はRPC-208乳剤、及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

新刊

SHIBUYA INDEX

—Index of Pesticides— 1996年版

(英語版)

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第7版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余種を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余種も掲載。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

呈内容見本

水田雑草の生態と防除

—水稻作の雑草と除草剤解説—

宮原益次／著

A5判 定価3,090円(税込)

水田雑草の発生特性、雑草害について著者40年の知見を網羅。さらに水田における合理的で省力的・低コストの雑草防除について解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
 Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665



こりゃい〜や、軽くて楽だ!

省カタイプ・10アール当り

1キロ散布



少量化で省力化。

初・中期一発処理除草剤

フジガラス® 1キロ粒剤

フジガラス普及会
デュボン株式会社
ゼネカ株式会社
事務局
日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号



しつこい草に、とどめの効きめ!

- しつこいクログワイ、やっかいなオモダカ、さらにシズイ、コウキヤガラ、エソノサヤマカグサなどに優れた効き目を発揮します。
- 便利で、使いやすい2つのバサグラン。粒剤タイプと液剤タイプ、用途にあわせてお選びいただけます。
- 難防除雑草の発生を確認してから散布ができるので、確実性が高く、より経済的です。

水田多年生雑草防除剤

バサグラン®

粒剤・液剤 (ナトリウム塩)

®はBASF社の登録商標です。

取扱会社：クミアイ化学工業㈱／三共㈱／サンケイ化学㈱／日本農薬㈱／北興化学工業㈱／八洲化学工業㈱
普及会事務局：住友化学工業㈱ 〒104 東京都中央区新川12-27-1

平成7年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和处理

乳													処理時期	使用量・製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
処理法	地域名	作 期	ノ ヒ エ	一 年 広 葉 マ ツ ハ イ	ホ タル イ	ク リ カ ワ	ミ ズ カ ツ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ タ カ	ヒ ル ム シ ロ	藻 類 剥 離	植代時 (～4)	30～ 50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
Ⅱ-1 1. CG-113	北海道		○	○	○			○					植代時 (～4)	30～ 50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
	東北		○	○	○		○	○								○	○	○			
	北陸		○	○	○		○	○								○	○	○			
	関東	早	○	○	○		○									○	○	○			
	東海	普	○	○	○		○									○	○	○			
	近畿	早	○	○	○		○										○	○	1		
	中国	普	○	○	○		○									○	○	○	2		
	四国	早	○	○	○		○										○	○	1		
	普	○	○	○		○										○	○	○	2		
	九州	早	○	○	○		○										○	○	○	1	
	普	○	○	○		●										○	○	○			
乳													処理時期	使用量・製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
処理法	地域名	作 期	ノ ヒ エ	一 年 広 葉 マ ツ ハ イ	ホ タル イ	ク リ カ ワ	ミ ズ カ ツ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ タ カ	ヒ ル ム シ ロ	藻 類 剥 離	植代時 (～4)	50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
Ⅱ-1 2. RPC-208	北海道		○	○	○			○					植代時 (～4)	50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
	東北		○	○	○		○										○	○			
	北陸		○	○	○		○									○	○	○			
	関東	早	○	○	○		○									○	○	○			
	東海	普	○	○	○		○									○	○	○			
	近畿	早	○	○	○		○										○	○	1		
	中国	普	○	○	○		○									○	○	○	1.5		
	四国	早	○	○	○		○										○	○	1		
	普	○	○	○		○										○	○	○	1.5		
	九州	早	○	○	○		○										○	○	○	1	
	普	○	○	○		○										○	○	○			
乳													処理時期	使用量・製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
処理法	地域名	作 期	ノ ヒ エ	一 年 広 葉 マ ツ ハ イ	ホ タル イ	ク リ カ ワ	ミ ズ カ ツ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ タ カ	ヒ ル ム シ ロ	藻 類 剥 離	植代時 (～4)	50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
Ⅱ-1 3. TCG-128	北海道		○	○	○			○					植代時 (～4)	50 ml/a	1.5	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm
	東北		○	○	○												○	○	○		
	北陸		○	○	○		○									○	○	○			
	関東	早	○	○	○		○									○	○	○			
	東海	普	○	○	○		○									○	○	○	1		
	近畿	早	○	○	○		○										○	○	1		
	中国	普	○	○	○		○									○	○	○	2		
	四国	早	○	○	○		○										○	○			
	普	○	○	○		○										○	○	○			
	九州	早	○	○	○		○										○	○	○		
	普	○	○	○		○										○	○	○			

II-2 移植前後土壌処理

多量の以上表処理													処理時期	使用量・製品	砂土 1.5	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意	
処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カサリ	ヘラ モタ	クログ マ	オモダ マ	ヒルムシ ロ	藻類剥離									
Ⅱ-2 1. CG-113-1kg粒	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○始					植代後〜4 +0〜+5 (ノヒエ1L)	100 g/a	○	○	○	○	2		
		東北	○1	○	○始		○始	○始								○	○	○			
		北陸	○1	○	○始		○始	○始								○	○	○			
		関東	早	○1	○	○始											○	○			○
		東海	普	○1	○	○始											○	○			○
		近畿	早	○1	○	○始											○	○			○
		中国	普	○1	○	○始											○	○			○
		四国	早	○1	○	○始											○	○			○
		普	○1	○	○始												○	○			○
		九州	早	○1	○	○始								植代後〜4 +0〜+3 (ノヒエ1L)		○	○	○	○		
		普	○1	○	○始												○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロクワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻表剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深cm/d	使用上の注意		
Ⅱ-2 2. KPP-314 7077 ^ル	土壌処理	北海道	●始	●									植代後～-4. +0～+3 (/t ¹ 始)	50 ml/a			●●	2	(5)			
		東北	●始	●												●●	1.5					
		北陸	●始	●												●	●●	2				
		関東 東山 東海	早	●始	●											●	●●	1				
			普	●始	●												●●					
		近畿 中国	早	●始	●											●	●●	1				
			普	●始	●											●	●●					
		四国	早	●始	●											●	●●	1				
			普	●始	●											●	●●					
		九州	早	●始	●											●	●●	1				
			普	●始	●											●	●●					
Ⅱ-2 3. KPP-314 -1kg 粒	土壌処理	北海道	●始	●									植代後～-4. +0～+5 (/t ¹ 始)	100 g/a			●●	2	(5)			
		東北	●始	●												●●	1.5					
		北陸	●始	●												●	●●	2				
		関東 東山 東海	早														●●	1				
			普	●始	●												●●					
		近畿 中国	早	●始	●										植代後～-4. +0～+3 (/t ¹ 始)			●		●●	1	
			普	●始	●												●	●●				
		四国	早	●始	●													●		●●	1	
			普	●始	●													●		●●		
		九州	早	●始	●													●		●●	1	
			普	●始	●													●		●●		
Ⅱ-2 4. KPP-942 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○始					植代後～-4. +0～+5 (/t ¹ IL)	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(5)		
		東北	○1	○	○始		○始	○始							●	○	○	○				
		北陸	○1	○	○始		○始	○始							○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○1	○	○始	○始									○	○	○	○			
			普	○1	○	●始	○始								○	○	○	○				
		近畿 中国	早	●1	●	●始	●始									●	●●	1				
			普	○1	○	○始	●始								●	○	○	○	2			
		四国	早	●1	●	●始	●始									●	○	○	○		1	
			普	○1	○	○始	●始								●	○	○	○	2			
		九州	早	○1	○	○始	●始										○	○	1			
			普	○1	○	○始	●始								●	●	○	○				
Ⅱ-2 5. MC-79 ^① -1kg 粒	土壌処理	北海道	●1	●									植代後～-4. +0～+5 (/t ¹ IL)	100 g/a	1.5	●	●●	●●	2	(5)		
		東北	●1	●												●	●●	●●	1.5			
		北陸	●1	●												●	●●	●●	2			
		関東 東山 東海	早														●●	1				
			普	●1	●												●●					
		近畿 中国	早	●1	●										植代後～-4. +0～+5 (/t ¹ IL)			●	●●		1	
			普	●1	●												●	●●				
		四国	早	●1	●													●	●●		1	
			普	●1	●													●	●●			
		九州	早	●1	●													●	●●		1	
			普	●1	●													●	●●			

II-2 6. NSX-850 7077^ル 「継」II-2 7. NSX-859 7077^ル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	広葉マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモタカ	クロクワイ	オモタカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土1.5	塩土	植土	植土	減水cm/d	使用上の注意	
Ⅱ-2 8. SB-528 7077g	土壌処理	北海道		● 1	●	● 始			● 始					植代後～4, +0～+5(/t・1L)	50 ml/a	●	●	●	●	2		
		東北		● 1	●	● 始			● 始	● 始				+0～+5(/t・1L) 植代後～4, +0～+5(/t・1L)			●	●	●	1.5		
		北陸		● 1	●	● 始			● 始	● 始				+0～+5(/t・1L) 植代後～4, +0～+5(/t・1L)				●	●	2		
		関東 東山 東海	早 普	● 始 ● 1	● ●	● 始 ● 始		● 始 ● 始						+0～+5(/t・1L) 植代後～4, +0～+5(/t・1L)			● ●	● ●	● 2	1		
		近畿 中国	早 普															● ●	● ●			
		四国	早 普	● 1	●	● 始		● 始										● ●	● ●			
		九州	早 普	● 1	●	● 始		● 始											● ●	1		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク クイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-2 9. SL-970 7077g	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始							+0～+5 (/t・1L)	50 ml/a	●	●	●	● 2	1.5	初期剤として 50ml/a 散布が可能		
		東北	● 1	●	● 始		● 始	● 始							植代後～4, +0～+5(/t・1L)		●	●	●	● 2	1.5			
		北陸	● 1	●	● 始		● 始								+0～+5 (/t・1L)		●	●	●	● 1	2	水口処理可能 (北海道 ～九州)		
		関東 東山 東海	早 普	● 1 ○ 1	● ○	● 始 ○ 始									+0～+5 (/t・1L)		● ●	○ ○	○ ○	● 1 2				
		近畿 中国	早 普	● 1 ● 1	● ●	● 始 ● 始									植代後～4, +0～+5 (/t・1L)			● ●	● ●	● 1				
		四国	早 普	● 1 ● 1	● ●	● 始 ● 始												● ●	● ●					
		九州	早 普	● 1 ○ 1	● ○	● 始 ○ 始												● ○	● ○	○ ○				

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク クイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-2 10. X-52-1kg 粒	土壌処理	北海道	○ 1	○											植代後～4 +0～+5 (1/2・1L)	100 g/a	○	○	○	○	2		
		東北	○ 1	○														○	○	○	1.5		
		北陸	○ 1	○														○	○	○	○	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 1	●														●	●	●		
		近畿 中国	早 普	● 1	●														●	●	●	1	
		四国	早 普	● 1	●														●	●	●	●	
		九州	早 普	● 1	●																●	●	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク クイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 11. YH-411 -1kg 粒	北海道													100 g/a						
	東北																			
	北陸																			
	関東 東山 東海	早 普	● 1 ●	●	● 始								+0～+5 (/t・1L)			●	●	● 2		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

II-3 移植後土壌処理剤

														処理時期	使用 量 製 品	砂 壌 土 1.5	埴 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
地域名	作 期	ハ・エ 圧 マ	年 業 マ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カ フリ	ヘラオモ タ カ	クロダ ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離			+ 0 ~ + 5 (/t ⁺ 1L)	30 ml/a					2	(6)
北海道 東北 北陸 関東 東山 東海 近 畿 中 国 四 国 九州	● 1	●	● 始				● 始									●	●	●	●	2	
	● 1	●	● 始															●	●	1.5	
	● 1	●	● 始														●	●	2		
	早																				
	普																				
	早																				
	普																				
	早																				
	普																				
	● 1	●	● 始													●	●	●	●		

II-3 2. CGM-150-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミス カ・ヤ フリ	ヘラオモ タ・カ	クロダ ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土 1.5	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
II-3 3. DH-945 7077 ^ル	土 壌 処 理	北海道		● 1.5	●										+0 ~ /t ⁺ 1.5L	50 ml/a	●	●	●	●	2			
		東北		● 1.5	●												●	●	●	1.5				
		北陸		● 1.5	●												●	●	●	2				
		関東 東山	早	● 1.5	●												●	●	●	1				
		近畿 中国	早	● 1.5	●												●	●	●	2				
		四国	早	● 1.5	●												●	●	●	1.5				
		九州	早	● 1.5	●												●	●	●					
			普	● 1.5	●													●	●	●	1			

II-3 4. HSA-951-1kg 粒 「継」

II-3 5. KUH-958 7077^ル 「継」

II-3 6. RPC-208 乳 「継？」

II-3 7. RYH-115 7077^ル 「継」

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラオモ タ・カ	クロダ ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-3 8. S-28-1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●										+0~+5 (/t ⁺ 1L)	100 g/a		●	●	●	2	(18)		
		東北	● 1	●														●	●	1.5			
		北陸	● 1	●															●	●	2		
		関東 東山	早 普																				
		近畿 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				
			● 1	●															●	●	●	1	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラオモ タ・カ	クロダ ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻表剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-3 9. S-889-1kg 粒	土壌処理	北海道		● 1	●	● 始			● 始						+0~+5(/t ⁺ 1L)	100 g/a	●	●	●	2				
		東北		● 1	●	● 始			● 始						+3~+5(/t ⁺ 1L)				●	●	1.5			
		北陸		● 1	●	● 始											+0~+5(/t ⁺ 1L)		●	●	●	2		
		関東 東山	早																●	●	●			
		普通	● 1	●	● 始														●	●	●			
		近畿 中国	早																					
		普通	● 1	●	● 始														●	●	●	1.5		
		四国	早																					
		普通	● 1	●	● 始															●	●	●		
		九州	早																					
普通	● 1	●	● 始															●	●	1				

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウ リ	ミ ヤ リ	ハ タ タ タ	ク ロ ク ク	オ モ タ タ	ヒ ル シ ロ	藻 類 層 離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 10.SB-529 -1kg 粒	北海道	●1	●	●始		●始					+0~+5 (/t ⁺ 1L)	100 g/a			●●	2		
	東北	●1	●	●始		●始									●●			
	北陸	●1	●	●始		●始								●	●●			
	関東 東山 東海	早 普																
	近畿 中国	早 普	●1	●	●始									●	●●	1		
	四国	早 普	●1	●	●始									●	●●			
	九州	早 普	●1	●	●始										●●			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウ リ	クワ リ	ミ ヤ リ	ヘ タ タ	ク ロ ク ク	オ モ タ	ヒ ル シ ロ	藻 類 層 離			処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意		
II-3 11.SB-530 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○ 1	○	○ 始			○ 始							+ 0 ~ + 5 (/t ⁺ 1L)	100 g/a		○	○	○	2			
		東北	○ 1	○	○ 始		○ 始	○ 始										○	○	○				
		北陸	○ 1	○	○ 始		○ 始											○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○ 1	○	○ 始		○ 始											○	○	○			
			普	○ 1	○	○		○ 始											○	○	○			
		近 畿 中 国	早																					
			普	○ 1	○	○ 始		○ 始												○	○		1	
		四 国	早																	○	○		○	
			普	○ 1	○	○ 始		○ 始													○		○	
		九 州	早															+ 3 ~ + 5 (/t ⁺ 1L)						
普	○ 1		○	○ 始														○	○					

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウ リ	ミ ヤ リ	ハ タ タ タ	ク ロ ク ク	オ モ タ タ	ヒ ル シ ロ	藻 類 層 離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 12.SL-498E -1kg 粒	北海道	●1.5	●	●始		●始			●前	●前	+0~+1.5L	100 g/a			●●	2		
	東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始								●●	1.5		
	北陸	●1.5	●	●始	●始										●●	1		
	関東 東山 東海	早 普	●1.5	●	●始	●始			●前					●	●●	2		
	近畿 中国	早 普	●1.5	●	●始	●始								●	●●	1.5		
	四国	早 普	●1.5	●	●始	●始								●	●●			
	九州	早 普	●1.5	●	●始	●始							●	●	●●	1		
													●	●	●●			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウ リ	ミ ヤ リ	ハ タ タ タ	ク ロ ク ク	オ モ タ タ	ヒ ル シ ロ	藻 類 層 離		処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
II-3 13.TSM-612 7077-M	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始					+0~+5 (1t±1L)	50 ml/a		●	●	●	2	初期剤として 50ml/a 散布が可能			
		東北	○ 1	○	○ 始										●	●	○	○					
		北陸	○ 1	○	○ 始										○	○	○	○					
		関東 東山 東海	早	● 1	●	● 始										○	○	○	○				
			普	○ 1	○	○ 始										○	○	○	○				
		近畿 中国	早	● 1	●	● 始												○	●		●	1	
			普	○ 1	○	○ 始												○	○		○		
		四国	早	● 1	●	● 始															●	●	
			普	○ 1	○	○ 始													○		○	○	
		九州	早																				
普	○ 1		○	○ 始											○	○	○	2					

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネトルイ	クリカワ	ミス・カ・ヤフリ	ヘラオモダカ	クロク・ヲイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 14. 1SR-121 7077°N	北海道		○1.5	○	○始								+0~+1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	○	2	(33) 時能 田散布可能 (東北・関東・九州) 水口処理 (全域)
	東北		○1.5	○	○始										○	○	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始										○	○	○	○	○		
	関東	早	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	東山	普	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	南海														○	○	○	○	○		
	近畿	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	1	
	中国	普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネトルイ	クリカワ	ミス・カ・ヤフリ	ヘラオモダカ	クロク・ヲイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 15. Y-873 粒	北海道		○1.5	○	○始			○始					+3~ +1.5L	300 g/a	○	○	○	○	○	2	(33)
	東北		○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	関東	早	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	東山	普	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
	南海														○	○	○	○	○		
	近畿	早	○1.5	○	○始										●	○	○	○	○	1	
	中国	普	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始										●	○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		
		普	○1.5	○	○2										○	○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネトルイ	クリカワ	ミス・カ・ヤフリ	ヘラオモダカ	クロク・ヲイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 16. YH-3-1kg 粒	北海道												+0~+1.5L	100 g/a						2	
	東北		○1	○																	
	北陸		○1	○											○	○	○	○	○		
	関東	早																			
	東山	普	○1	○			○始									●	○	○	○	1.5	
	南海																				
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネトルイ	クリカワ	ミス・カ・ヤフリ	ヘラオモダカ	クロク・ヲイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 17. YH-562 7077°N	北海道		●1	●	●始			●始				●前	+0~+1.5L	50 ml/a		●	●	●	●	2	
	東北		●1	●	●始			●始				●前				●	●	●	●	1.5	
	北陸		●1	●	●始							●前			●	●	●	●	●	2	
	関東	早																			
	東山	普	●1	●	●始							●前	+3~+1.5L		●	●	●	●	●		
	南海																				
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

Ⅱ-3 18. NSK-863 7077°N 「継」

II-4 茎葉兼土壌処理剤

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-4 1. DEH-112 -1kg 粒	茎葉処理	北海道	○3										ノビエ2L ~3L	100g/a	○	○	○	○	2	5cm程度 の水を 使用する (47)
		東北	○3												●	○	○	○		
		北陸	○3												○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○3											○	○	○	○		
			普	○3											○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○3											●	○	○	○	1	
			普	○3											●	○	○	○	2	
		四国	早	○3											●	○	○	○	1	
			普	○3											●	○	○	○	2	
		九州	早	○3											○	○	○	○	1	
			普	○3											○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-4 2. DEH-BAS 乳(WE)	茎葉処理	北海道	○5	○	○4	○4		○4					ノビエ2L~5L	100ml/a 散布量 7~10t/a	○	○	○	○	2	(6) (10) (11) (12) 使用直前 に希釈す る。
		東北	○4	○	○3	○4	○5	○4							●	○	○	○		
		北陸	○4	○	○*	○5	○5	●5							○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○4	○	○4	○4	○3							○	○	○	○		
			普	○5	○	○4	○3	○3							○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○4.5	○	○4	○4	○4							●	○	○	○	1.5	
			普	○4.5	○	○4	○4	○4							○	○	○	○		
		四国	早	○4.5	○	○4	○4	○4							●	○	○	○		
			普	○4.5	○	○4	○4	○4							○	○	○	○		
		九州	早	○5	○	○*		○5							○	○	○	○	1	
			普	○5	○	○*	○5	○5							○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-4 3. MKS-245 水和	茎葉処理	北海道											ノビエ3L~4L	100g/a 散布量 10t/a 撒加用						(6) (10) (11) (12) 使用直前 に希釈す る。
		東北																		
		北陸																		
		関東 東山 東海	早																	
			普																	
		近畿 中国	早																	
			普	●4	●	●*		●4							●	●	●	●	2	
		四国	早																	
			普	●4	●	●*		●4							●	●	●	●		
		九州	早	●4	●	●*		●4							●	●	●	●		
			普	●4	●	●*		●4							●	●	●	●		

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-5 1. DEH-112 乳(EW)	茎葉処理	北海道	○5										ノビエ2.5L~5L (ノビエ2.5L~5L) (ノビエ3L~5L) (ノビエ2.5L~5L)	10ml/a 散布量 7~10t/a 撒加用	○	○	○	○	2	(21) 使用直前 に希釈す る。
		東北	○5												○	○	○	○		
		北陸	○5												○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○5											○	○	○	○		
			普	○5											○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○5											○	○	○	○	1	
			普	○5											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○5											○	○	○	○	1	
			普	○5											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○5											○	○	○	○	2	
			普	○5											○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミ・イ	ヘ・イ	クロ・イ	オ・イ	ヒ・イ	葉類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 2. DEH-112 -1kg 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 3										+15~+30 (/t・12L~5L)	100 g/a	○	○	○	○	2 5cm程度の 水深で使用する
		普	○ 3												○	○	○	○	
		早	● 3												●	●	●	●	
		普	○ 3												○	○	○	○	
		早	○ 3												○	○	○	○	
		普	○ 3												○	○	○	○	
		早	○ 3												○	○	○	○	
		普	○ 3												○	○	○	○	
		早	○ 3												○	○	○	○	
		普	○ 3												○	○	○	○	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミ・イ	ヘ・イ	クロ・イ	オ・イ	ヒ・イ	葉類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 3. DEH-BAS 乳(ME) Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) Ⅱ-6-(8) を併用	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 5	○	○ 4	○ 4		○ 4					+25~+40 (/t・12L~5L)	100 ml/a	○	○	○	○	2 (6) (1) (0) (1) (2) (1) (3) (6) (4) (0) 使用直前に希釈する。
		普	○ 5	○	○ 3	● 4	○ 5	○ 4	●	●					○	○	○	○	
		早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○	
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○	
		早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○	○	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○	○	
		早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○	○	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4								○	○	○	○	
		早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5								○	○	○	○	
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5								○	○	○	○	

* : 花茎抽出始 ** : 1)シ・イ 草丈5cm程度, 2)ウ・イ・イ 発生盛期 *** : イ・イ・イ・イ・イ 発生始~4 L
 クロ・イ防除は、クロ・イに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北、関東~九州)
 クロ・イに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
 イ・イ・イ防除は、イ・イ・イに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北~東海、九州)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミ・イ	ヘ・イ	クロ・イ	オ・イ	ヒ・イ	葉類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 4. MKS-245 水和	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早											+25~+40 (/t・12.5L~5L)	100 g/a	○	○	○	○	1 (6) (1) (0) (1) (2) (1) (3) (6) (4) (0) 使用直前に希釈する。
		普													○	○	○	○	
		早													○	○	○	○	
		普													○	○	○	○	
		早	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	
		普	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	
		早	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	
		普	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	
		早	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	
		普	● 5	●	● *	● 4	● 4								○	○	○	○	

* : 花茎抽出始

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミ・イ	ヘ・イ	クロ・イ	オ・イ	ヒ・イ	葉類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 5. NS-177 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始				+20~+25 (/t・12.5L)	300 g/a	○	○	○	○	2 (3) (0) (2) (8) (3) (4) (0) (2) (4) (3)
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始						○	○	○	○	
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2								○	○	○	○	

クロ・イに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(東北、関東~四国)
 オ・イに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(北陸、近畿~四国)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘナモ タマ	クロガ ワイ	オモ タ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 6.ネー-SM -1kg 粒	葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉	北海道	○2.5	○	○3	○4		○4				○前	20~25(1t×2.5L)	100	○	○	○	○	2	{1 8 9 3 9}
		東北	○3.5	○	○3	○4	○3	○4		○		○前	20~30 (1t×3.5L)	100	○	○	○	○		
		北陸	○3.5	○	○3	○4	○3	○4		○		○前		100	○	○	○	○		
		関東 東海	早 普	○3.5 ○3.5	○ ○	○3 ○3	○4 ○4	○3 ○3		○ ○		○前 ○前		100	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
		近畿 中国	早 普	○3.5 ○3.5	○ ○	○3 ○3	○4 ○4	○3 ○3				○前		100		○	○	○	1	
		四国	早 普	○3.5 ○3.5	○ ○	○3 ○3	○4 ○4	○3 ○3				○前		100		○	○	○		
		九州	早 普	○3.5 ○3.5	○ ○	○3 ○3	○4 ○4	○3 ○3				○前		100		○	○	○		

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1)	1. CH-904D-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	2. CH-904K-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	3. CDS-941 7077°ル 「継」
II-6-(1)	4. CDS-941D 7077°ル 「継」
II-6-(1)	5. DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 II-5 No.3 参照
II-6-(1)	6. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.12 参照
II-6-(1)	7. DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.13 参照
II-6-(1)	8. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.14 参照

II-6-(1) 9. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

		処理法	地域名	作期	ノヒエ	至葉マハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤ	ヘナモタマ	クロガワイ	オモタガ	ヒルムシロ	藻類剥離					処理時期	使用量 g/a	砂土 1.5	塩土	塩土	塩土	減深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 DPX-47TD -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉 葉葉	北海道	早	○2.5	○	○	○2	○2		○2			○	○前	○	再 生 前	○	○*	+5〜/ト×2.5L	100	○	○	○	○	2	{2 8 3 4 3 6 3 8 4 0 4 2}		
			東北	○3	○	○	○2	○2	○2	○2	●前	●前	○	○	○前	○	00**	+5〜/ト×3L	○	○	○	○	○	○				
			北陸	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○前	○	○始				○	○	○	○			
			関東 東海	早	○2.5	○	○	○2		○2				○	○	○前	○	再 生 前	○	+5〜/ト×2.5L		○	○	○	○			
			近畿 中国	普	○2.5	○	○	○2	○2	○2	○2			○	○	○前	○	○始	*:エゾノササキグサ 2L				○	○	○		○	
				普	○2.5	○	○	○2	○2	○2	○2	●始	●始	○	○	○前	○	○始	**:(1)シイ 発能-約3cm コナナラ 発能				○	○	○		○	1
			四国	早	○2.5	○	○	○2	○2	○2	○2			○	○	○前	○	再 生 前	○				○	○	○		○	
				普	○2.5	○	○	○2	○2	○2	○2	●始	●始	○	○	○前	○	○始					○	○	○	○		
			九州	早	○2	○	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○前	○	再 生 前		+5〜/ト×2L		○	○	○	○		
				普	○2.5	○	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○前	○	○始		+5〜/ト×2.5L		○	○	○	○		

7077°ルに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿～四国)
 7077°ルに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

II-6-(1)	10. DPX-84MND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.16 参照
II-6-(1)	11. KUH-931-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	12. KUH-936B-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	13. MK-243DS-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	14. MKS-245 水和 「継」
II-6-(1)	15. NC-311HW-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.45 参照
II-6-(1)	16. TDS-888 7077°ル 「実・継」 VII-1 No.19 参照
II-6-(1)	17. TDS-888D 7077°ル 「実・継」 VII-1 No.20 参照
II-6-(1)	18. YH-3-1kg 粒 「継」
II-6-(1)	19. DPX-84MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.15 参照

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2)	1. CH-904K-1kg	粒	「継」		
II-6-(2)	2. CDS-941	7077 [°] ル	「継」		
II-6-(2)	3. CDS-941 $\text{\textcircled{D}}$	7077 [°] ル	「継」		
II-6-(2)	4. DEH-BAS	乳(ME)	「実・継」	II-5 No. 3	参照
II-6-(2)	5. DPX-47MN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 12	参照
II-6-(2)	6. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
II-6-(2)	7. DPX-47SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 14	参照
II-6-(2)	8. DPX-47TD-1kg	粒	「実・継」	II-6-(1) No. 9	参照
II-6-(2)	9. DPX-84MN $\text{\textcircled{D}}$ -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 16	参照
II-6-(2)	10. KUH-883-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 25	参照
II-6-(2)	11. MK-243DS-1kg	粒	「継」		
II-6-(2)	12. NC-311HW-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 45	参照
II-6-(2)	13. NC-311T-1kg	粒	「継」		
II-6-(2)	14. TDS-888	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 19	参照
II-6-(2)	15. TDS-888 $\text{\textcircled{D}}$	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 20	参照

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5)	1. CH-904K-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 7	参照
II-6-(5)	2. DEH-BAS	乳(ME)	「実・継」	(前年通り) II-5 No. 3	参照
II-6-(5)	3. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
II-6-(5)	4. NC-311KP-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 15	参照
II-6-(5)	5. YH-3-kg	粒	「継」		

II-6-(6) エゾノサヤマカグサ対象

II-6-(6)	1. CH-904K-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 7	参照
II-6-(6)	2. DEH-BAS	乳(ME)	「実・継」	II-5 No. 3	参照
II-6-(6)	3. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
II-6-(6)	4. HSW-941-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-1 No. 6	参照
II-6-(6)	6. KUH-931-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 27	参照
II-6-(6)	7. NC-311KP-kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 15	参照
II-6-(6)	8. TDS-888	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 19	参照
II-6-(6)	9. TH-913ADE-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 61	参照

II-6-(7) クサネム対象

II-6-(7)	1. NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 16	参照
II-6-(7)	2. NSK-855 $\text{\textcircled{D}}$	7077 [°] ル	「継」		
II-6-(7)	3. TDS-888 $\text{\textcircled{D}}$	7077 [°] ル	「継」		

II-6-(8) コウキヤガラ対象

II-6-(8) 1. CH-904D-1kg 粒 「継」

II-6-(8) 2. CH-904K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.7 参照

II-6-(8) 3. DEH-BAS 乳(WE) 「実・継」 (前年通り) II-5 No.3 参照

II-6-(8) 4. DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.13 参照

II-6-(8) 5. DPX-84WNC-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2 No.16 参照

II-6-(8) 6. NC-311T-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ネグイ	ウリハ	ミ キ フリ	ヘラモ タ	クロ ク ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の	
																				注意	
Ⅶ-2 NC-311T -1kg 粒 Ⅱ-6-(8) を併用	茎葉干土燻処理	北海道	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	+5~+20 /t(2.5L)	100 g/a	○	○	○	2	(26)
		東北	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	+5~ /t(2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	(36)
		北陸	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	+5~ /t(2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	(38)
		関東 東海	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	*:1)シズイ 2)コキガラ	100 g/a	○	○	○	○	(40)
		近畿 中国	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	*:1)シズイ 2)コキガラ	100 g/a	○	○	○	○	(41)
		四国	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	北陸の砂埴土 は+10~15 2.5L	100 g/a	○	○	○	1.5	(42)
		九州	早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*	コキガラ ●始	100 g/a	○	○	○	○	
			普	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*		100 g/a	○	○	○	○	
			早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*		100 g/a	○	○	○	○	
			普	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*		100 g/a	○	○	○	○	
			早	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*		100 g/a	○	○	○	○	
			普	0.25	○	○	○	○	○	○	○	○	再生 前	○*		100 g/a	○	○	○	○	

II-6-(8) 7. NC-329-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.47 参照

II-6-(8) 8. SKH-8602D 粒 「実・継」 VII-1の使用基準に併用

												処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
処理法	地域名	作 期	1年 広葉 マハイ	ネグイ	ウリハ	ミ キ フリ	ハ タ タ タ	クロ ク ワ	オ モ カ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	リ イ ン グ サ								
Ⅶ-1 SKH-8602 ① Ⅱ-6-(8) を併用	土壌処理剤	北海道	○2	○	○2	○	始	○2			○発 生期	○前	○再 生前	○始 ～2L	300 g/a	○	○	○	2	(36) (26) (36) (30) (41) (42)
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期			○0*			○	○		
		北陸	○2	○	○2	○2	○2	○2						○始			○	○		
		関東 東海	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○始 ○始				○発 生期	○前	○再 生前	*:1)シズイ 前～始 2)コキガラ 発生始		○1	○	○	1.5	
		近畿 中国	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○2 ○2			○始	○始	○発 生期	○前		○再 生前			○	2	
		四国	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○2 ○2			○始	○始	○発 生期	○前	○再 生前			○	○	1	
		九州	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○2 ○2			○始	○期	○発 生期	○前	○再 生前			○	○	1.5	

コキガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
 ネグイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿~四国)

II-6-(8) 9. TH-913HSK-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No.23 参照

II-6-(8) 10. TH-913SN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.62 参照

II-6-(8) 11. TH-913ST 7077ル 「実・継」 VII-1 No.24 参照

II-6-(9) その他

II-6-(9) 1. DPX-84WNC-1kg 粒 「継」

II-6-(9) 2. NC-329-1kg 粒 「継」

II-6-(9) 3. TDS-888 7077ル 「継」

Ⅲ-1 湛水直播

													処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深 cm/d	使用上の注意			
処理法	地域名	作期	一年広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロガ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		1/10 2L ~4L	100 ~150 g/a 3.5 以上の 土層 150 g/a					5cm程度 の水用 (47)			
Ⅲ-1 1. DEH-112 -1kg 粒	北海道	○4														○	○	○	2			
	東北	○4																○	○		1.5	
	北陸	○4																○	○		1	
	関東 東海	早 普	○4														○	○	○		2	
	近畿 中国	早 普	○4															○	○		1	
	四国	早 普	○4															○	○			
	九州	早 普	○4															○	○		○	2
													処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深 cm/d	使用上の注意			
処理法	地域名	作期	一年広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロガ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		1/10 3L~5L	100 ml/a (8 7~10 t/a)					(8) (10) (11) (12) (2) 使用する 直前に希釈 する。			
Ⅲ-1 2. DEH-BAS 乳(ME)	北海道																					
	東北																					
	北陸																					
	関東 東海	早 普																				
	近畿 中国	早 普	●5	●	●4											●	●	●		1		
	四国	早 普	●5	●	●4											●	●	●				
	九州	早 普	●5	●	●4	●5	●5									●	●	●		2		

Ⅲ-1 3. SW-HW-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロガ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅲ-1 4. KUH-883D -1kg 粒	基準土 処理	北海道												1/10 1.5L~ 1/10 2.5L	100 g/a					機械播き 直前に希釈 する。	
		東北																			
		北陸	○2.5	○	○2													○	○		1
		関東 東海	早 普	○2	○	○2	○2	○2				○発生期					○	○	○		2
		近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2									○	○	○		1
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					○再生始				○	○	○		
		九州	早 普										○始				○	○	○		

Ⅲ-2 乾田直播

処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロガ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳(EW)	北海道												1/10 3L ~5L (入水前)	10 ml/a (8 7~10 t/a 散用)					使用直前 に希釈す る。
	東北	○5															○	○	
	北陸	○5															○	○	
	関東 東海	早 普																	
	近畿 中国	早 普	○5													○	○	○	
	四国	早 普	○5													○	○	○	
	九州	早 普	○3															○	

[illegible][illegible][illegible]

IV 胙胙雜草

		処 理 法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 1. Hoe-866-3B 水和	葉 薬 処 理	北海道	●	全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50~75g/a (15~20ℓ/a)	全土壌	{ 2 3 } { 2 4 }
		東 北	○					
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 2. KUH-913	液	北海道	● 全草種 (草種により効果の変 動がある)	草刈り後10～20日 (草丈1.0cm以下)	30～50ml/a(1000a)※	全土壌	(24) イネ科主体の群落で使 用する(東北、北陸) *約45日の間隔で40+40 ml/aの体系で抑草期間 を延長(東北、関東～ 四国)
		東 北	○	草刈り後10～20日 の雑草再生期 (6～7月)	40～50ml/a(1000a)		
		北 陸	○				
		関東・東山・東海	○	雑草生育初期 (草丈1.0cm程度)	30～50ml/a(1000a)※		
		近畿・中国	○	及び草刈り後10～20日 の再生期			
		四 国	○				
		九 州					

IV 3. NC-302 液 7077# 「継」

IV 4. NB-401 7077# 「継」

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 5. PR-084 液	北海道	● 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50~70ml/a (一年生雑草は25ml/a)	全土壌	{ 2 3 } { 2 4 }
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 6. SC-224 液	北海道	○ 全草種(スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20~40ml/a(10ℓ/a) 少量散布:10倍液500~600 ml/aでも有効。専用の散布 ノズルを用いる。 (九州は10倍液400ml/a可能) 少量散布:1ℓ/aの希釈水量 (40~60ml/a)でも有効 (東北~四国)	全土壌	{ 2 3 } { 2 4 }
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

IV 7. WOC-01 液 「継」

IV 8. WOC-02 液 「継」

IV 9. MON-8794 液 試験継続中(本年度の効果と翌春の効果을併せて判断するため判定は保留する。)

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 10. BGX-816 水溶	葉薬 処理	北海道	○	全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	40～80g/a (10ℓ/a)	全土壌	{ 2 3 } { 2 4 }
		東 北	○					
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					
						40～60g/a (10ℓ/a)		

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 11. MON-93A 液	北海道	○ 全草種 (スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	25~50 ml/a(10ℓ/a) (東北は、50ml/a) 少量散布:希釈水量2.5ℓ/a でも有効。専用の散布ノ ズルを用いる。 (北海道、関東~九州)	全土壌	{ 2 3 } { 2 4 }
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

IV 12. NH-501 7077# 「継」

V 耕起前

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1. SC-224 液	北海道	○ 一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	40~75ml/a(10ℓ/a)*	全土壌	{ 2 5 } *希釈水量2.5ℓ/a でも有効。 専用の散布ノズル を用いる。 (東北~九州)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 2. ULV-03 液	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前7日まで	300~500ml/a 原液散布：専用の散布機を用 いる	全土壌	(25)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 3. WOC-01 液	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	50~100ml/a(10ℓ/a)	全土壌	(25)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

V 4. WOC-02 液 「継」

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 5. MW-851 液	葉茎処理	北海道		一年生雑草	湛水前15～5日	50ml/a (10ℓ/a)	金土壌	(25)
		東 北	●					
		北 陸			湛水前15～7日			
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州						

	処 理 法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 6. SC-224 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前 1 5 ～ 5 日	40ml/a (1 0 ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	●					
		北 陸			湛水前 1 5 ～ 7 日			
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国	●					
		四 国	●					
		九 州	●					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 7. YF-650 液	葉薬処理	北海道		一年生雑草	湛水前10～5日	80～100ml/a (10ℓ/a) 展着剤加用	全土壌	(25)
		東 北	○					
		北 陸						
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国	●					
		四 国	●					
	九 州	●						

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 8. SC-224 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 播種前6日～播種後7日 (出芽前)	4 0 ml/a (10 l/a)	全土壌	(2 5)
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国		●			
		四 国		●			
		九 州		○			
			雑草生育期 播種前7日～播種直後				

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリ	ミズ カ	ヘリ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 7. KPP-932 7077 ¹ 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	+0~1/2 ¹ 1.5L	50 ml/a	●1.5	○	○	○	2	均一散布 (関東~東海)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2												
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	●始	○2				○発生	○前								
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	九州	早	○1.5	○	○2		○2				○発生									
	北海道	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	東北	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	北陸	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	関東 東海	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	近畿 中国	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリ	ミズ カ	ヘリ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 8. KPP-932 1kg 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	+0~1/2 ¹ 1.5L	100 g/a	●1.5	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北、 関東~九州)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2												
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	●始	○2				○発生	○前								
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	九州	早	○1.5	○	○2		○2				○発生									
	北海道	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	東北	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	北陸	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	関東 東海	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								
	近畿 中国	普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前								

VII-1 9. NBA-074-1kg 粒 「継」

VII-1 10. NBA-075 7077¹ 粒 「継」

VII-1 11. NBA-076a-1kg 粒 「継」

VII-1 12. NBA-076b-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリ	ミズ カ	ヘリ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 13. NC-311CG 1kg 粒	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2			○発生	○前	+0~1/2 ¹ 2L	100 g/a	○1.5	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42) +0は砂土を 除く 田植同時 散布可能 (東北)
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○始	○始		○発生	○前								
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前								
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	北海道	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	東北	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	北陸	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	関東 東海	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								
	近畿 中国	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前								

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリ	ミズ カ	ヘリ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 14. NC-311KP ①顆粒水和	北海道	早	●1.5	●	●始		●2				●発生	●前	+0~1/2 ¹ 1.5L	6.6 g/a	●1.5	●	●	●	2	(34) (27)
	東北	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	北陸	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	関東 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	九州	早	●1.5	●	●始	●始	●2				●発生	●前								
	北海道	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	東北	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	北陸	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	関東 東海	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								
	近畿 中国	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生	●前								

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ネグハ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 15. NC-311KP -1kg 粒 Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) を併用	土壌処理	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	●●●	+0~1/t×1.5L	100 g/a	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 } { 4 0 }
		東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○発生 期	○前	○再生 前	●●●			○	○	1.5	
		北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○始							○始		*:シズ・イ 始期~1.5cm 2L		○	○	○	2
		関東 東山 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始					○発生 期	○前	○再生 前	●●●			●	●	●	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始					○発生 期	○前	○再生 前	○			○	○	○		
		近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●2					●発生 期	●前	●始				●	●	●	1
		普	○1.5	○	○始	○始	○始					○発生 期	○	○	○再生 前				○	○	○	
		四国	早	●1.5	●	●始	●始	●2					●発生 期	●前	●始				●	●	●	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始					○発生 期	○	○	○再生 前				○	○	○	
		九州	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生 期	●前	●				●	●	●	
		普	○1.5	○	○始		○2						○発生 期						○	○	○	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年	ネグハ	クリカ	ミズ	ヘラ	クロ	オモ	ヒル	藻類	処理時期	使用	砂	壤	埴	埴	減	使用上の	
					葉	イ	カ	タ	グ	カ	シ	剥	量		土	土	土	深	注意			
VII-1 16. NSK-855 7077 [※] II-6-(7) を併用	表処理	北海道	○2	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○再生 前	○*	+0~1/t×2L	50 ml/a	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40) (42)
		東北	○2	○●	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○再生 前	○00**	*:シズ・イ 始期~1.5cm 2L		○	○	○				
		北陸														**: 2)コナヤ						
		関東 東山 東海	早													***: 2)コナヤ						
		近畿 中国	早																			
		四国	早																			
		九州	早																			
			普																			
			早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグハ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 17. NSK-855- 7077 [※]	土壌処理	北海道													50 ml/a						(34) (38) (41) (42)	
		東北																				
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○期	○前	○始	+0~1/t×2L	●	○	○	○	2	水口処理 可能 (北陸、 近畿〜九州)
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				●発生期	●	再生期	+5~1/t×2L	○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	○	●前	再生期	+0~1/t×2L	●	○	○	○	1	
			早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	○	○	○始		○	○	○	○	2	
			早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	●	●前	再生期		●	○	○	○	1	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	○	○	再生期		○	○	○	○	2	
			早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	○	○	再生期		○	○	○	○	2	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期	○	●	●前	再生期	○	○	○	○	1.5	
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○	●	●前		○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東~九州）

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグハ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 18. SL-970 7077 [※]	土壌処理	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期			+0~1/t×1.5L	100 ml/a	○	○	○	○	2	{ 3 3 } { 3 4 } 水口処理 可能 (全域)	
		東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期			+0~1/t×2L		○	○	○	○			
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期			+3~1/t×2L		○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期			+0~1/t×2L		○	○	○	○	1		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○	1		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○	1		
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○	1.5		
			早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○			
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○			
			早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○			
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					○	○	○	○			

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズナギ	ヘラモタ	クログ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 19. TDS-888 7077 ¹⁰ II-6-(1) II-6-(2) II-6-(6) を併用	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	●前	●前	○発生期	○前	+0~ ノビエ1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(3) (3) (3) (3) (4) (4)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○前	○発生期	○前			○	○	○	○		水口処理 可能 (北海道、 東北)
	北陸	早																		田植同時 散布可能 (東北)
	関東 東山 東海	早																		
	近畿 中国	早																		
	四国	早																		
	九州	早																		

ノビエに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズナギ	ヘラモタ	クログ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 20. TDS-888 7077 ¹⁰ II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	早									○発生期	○前	+0~ ノビエ1.5L (関東~東海 の+0は、早期 の砂壌土を 除く)	50 ml/a						(3) (3) (3) (3) (4) (4)
	東北	早	○1.5	○	○2	○始	○2			●始	○発生期	○前			○	○	○	○	2	水口処理 可能 (北陸~九州)
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2			●始	○発生期	○前			○	○	○	○	1.5	田植同時 散布可能 (関東~九州)
	関東 東山 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2			●始	○発生期	○前			○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○2	○始	○始	○始		●始	○発生期	○前			○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○2	○始	○始	○始		●始	○発生期	○前			○	○	○	○	1	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2			●前	○発生期	○前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2			●前	○発生期	○前			○	○	○	○	1.5	

ノビエに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸~東海、九州)

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズナギ	ヘラモタ	クログ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 21. TH-913ADS ①	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	+3~ ノビエ1.5L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○		
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前			○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前			○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○	1	
	九州	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前			○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズナギ	ヘラモタ	クログ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 22. TH-913ADS ①-1kg 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	+3~ ノビエ1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○始	○始		○発生期	○前			○	○	○	○		
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○始	○始		○発生期	○前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●前			●	●	●	●	1	
	近畿 中国	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前			●	●	●	●	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○	1	
	九州	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前			○	○	○	○	2	
	九州	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●前			●	●	●	●	1	

	処理法	地域名	作期	藻類												処理時期	使用 量 g/a	砂 量 t	塩 量 t	塩 土 量 t	塩 土 量 cm/d	使用上の 注意
				ハ・エ 広葉マツ	ナリ	クリ	ミズ マツ	ヘラ マツ	クロ マツ	モ マツ	ヒル マツ	藻類	藻類	藻類	藻類							
Ⅱ-6-(8)を併用	土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○*	+5~ /t×2 L	100	○	○	○	○2	{28 34 36}			
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○**	*:エゾノササガク 2 L	○	○	○	○					
		北陸	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○	**:	○	○	○	○	○				
		関東	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○	**:	○	○	○		○			
		東山	普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○	発生始	○	○	○	○				
		南海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	○				
		近畿	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	1				
		中国	普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	1.5				
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	1				
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	1.5					
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○		○	○	○	1				
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○前	○前	○**		○	○	○	○	1.5				

	処理法	地域名	作期	ハ・エ マツハ・イ	一年 マツハ・イ	ナリ	クリ	ミズ マツハ・イ	ヘラ マツハ・イ	クロ マツハ・イ	モ マツハ・イ	藻類 マツハ・イ	処理時期	使用 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-6-(8)を併用	十嵐処理	北海道	○1.5	○	○2	○2	○2	○2		○	○前	○前	○*	+0~ /t×1.5 L	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(34) (40) (41)
		東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○**	*:エゾノササガク 2 L		○	○	○		
		北陸	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○	**:		○	○	○		
		関東	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2		○	○前	○前	○	発生始		○	○	○	1	田格同時
		東山	普	○1.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○前	○前	○	2)エゾノササガク 発生始		○	○	○	2	敷布可能
		南海	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○			○	○	○	1	(東北・関東・東海、
		近畿	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○			○	○	○	1.5	九州)
		中国	普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○			○	○	○	1	水口処理
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○			○	○	○	1	可能
		普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始		○	○前	○前	○			○	○	○	1.5	(全域)
		九州	早	○1.5	○	○2	○始	○始	○始			○	○前	○前			○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始			○	○前	○前	エゾノササガク ●始		○	○	○		

Ⅱ-1 25. TH-951 フラワー「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ナリ	クリ	ミズ	ヘラ	クロ	モ	ヒル	藻類	処理時期	使用・製品	砂	塩	塩	塩	減水	使用上の
Ⅱ-6-(8)を併用	北海道													50 ml/a						
	東北																			
	北陸																			
	関東	早									発生		+0~ /t×1.5 L							
	東山	普	●1.5	●	●2	●2	●2				●前	●						1.5		
	南海	早																		
	近畿	早																		
	中国	普																		
Ⅱ-6-(8)を併用	四国	早																		
	普																			
	九州	早																		
	普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ナリ	クリ	ミズ	ヘラ	クロ	モ	ヒル	藻類	処理時期	使用・製品	砂	塩	塩	塩	減水	使用上の
													藻類		100					cm/d	注意
Ⅶ-1 27.SL-498 -1kg 粒	土壌処理	北海道											発 生 期		+0 ~ ハ・エ 2 L	○	○	○	○	2	{ 1 3 4 }
		東北	○ 2	○	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始					○ 前								
		北陸	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2						○ 前								
		関東	早	○ 2	○	○ 2	○ 2						○ 前								
		東山	普	○ 2	○	○ 2	○ 2						○ 前								
		南海	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前								
		近畿	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前								
		中国	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前								
		四国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前								
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前									
		九州	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前								
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前									

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリガ	ミズ カマ	ハラモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 6. CH-904D -1kg 粒	北海道											再生 前		100 g/a						{ 2 8 } { 3 4 }
	東北																			
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2						+5~ / t ⁺ 13L				●	● 2		
	関東 東山 海	早										発生 期	再生 前	+5~ / t ⁺ 12.5L			●	●		
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		
	近畿 中	早										発生 期	再生 前	+5~ / t ⁺ 13L			●	●		
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		
	四国	早										発生 期	再生 前				●	●		
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		
	九州	早										発生 期	再生 前				●	●		
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マツハ	ホタル	クリガ	ミズ カマ	ハラモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 7. CH-904K -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	芽生 養土 濃液	北海道		○ 3	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	再生 前	±5~ハ・エ3L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 6 } { 4 0 }
		東北		○ 3	○	○ 2	● 2	○ 2	○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 前	● ● ●		●	○	○			
		北陸												再生 前								
		関東 東山 海	早												*:エゾノササカ ガキ 発生始							
			普												*:エゾノササカ ガキ 発生始							
		近畿 中	早												*:エゾノササカ ガキ 発生始							
			普												*:エゾノササカ ガキ 発生始							
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
		普																				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリガ	ミズ カマ	ハラモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 8. CH-906D -1kg 粒	北海道											再生 前								{ 2 8 } { 3 4 }
	東北																			
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					● 前	再生 前	+5~ / t ⁺ 12.5L	100 g/a	●	●	○	○ 2	
	関東 東山 海	早										発生 期	再生 前				●	●		
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		
	近畿 中	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					発生 期	再生 前				○	○	1	
	四国	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				○	○		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					発生 期	再生 前				○	○		
	九州	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●	2	
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					発生 期	再生 前				●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリガ	ミズ カマ	ハラモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 9. CH-907 -1kg 粒	芽葉種子 堆肥処理	北海道		○ 2.5	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	再生 前	+ 5 ~ / t x2.5 L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	2	{ 3 4 } { 4 1 }
		東北		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 前			●	○	○	○		
		北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2							再生 前		○	○	○	
		関東 東山 海	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 発生 期	● 前	● 再生 前			●	●	●	●		
			普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前			○ 前	●	●	○	○	
		近畿 中	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前			○ 前			○	○	1
			普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前			○ 前			○	○	2
		四国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前			○ 前			○	○	1
			普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前			○ 前			○	○	2
		九州	早														再生 前					
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2											○	○			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホリイ	ウリカ	ミ カ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	クロ グ ワ	モ タ カ	トル シ ロ	藻類 剥離	リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 10. CH-908 -1kg 粒	北海道		○ 2	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	+5 ~ /t ² L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 }
	東北		○ 2	○	○ 2	○ 2					○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前			○	○	○	○	1	
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 前	○ 始	+5 ~ /t ² L		○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前					●	●	1	
	東海	普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前					○	○		
	近畿 中国	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2	○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 始					○	○		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期		○ 再生 前					○	○		
	四国	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始					○	○		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期		○ 始					○	○		
	九州	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				○ 発生 期							○	○		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期							○	○		

VII-2 11. DKH-951-1kg 粒 「維」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホリイ	ウリカ	ミ カ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	クロ グ ワ	モ タ カ	トル シ ロ	藻類 剥離	リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 12. DPX-47MN -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道		○ 2.5	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	+5 ~ /t ² L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 } { 3 6 } { 3 8 } { 4 0 } { 4 2 }
	東北		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	● 前	● 前	○ 期	○ 前	○ 始	00**		○	○	○	○	1	
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前	○ 始			○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	○ 2.5	○	○ 2		○ 2					○ 前		*:エゾノササカ 2L *:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキヤカラ 発生始		○	○	○	○	1	
	東海	普										○ 前	○ 再生 前			○	○	○	○	1.5	
	近畿 中国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期	○ 前				○	○	○	○	1.5	
	九州	早									○ 期					○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期					○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホリイ	ウリカ	ミ カ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	クロ グ ワ	モ タ カ	トル シ ロ	藻類 剥離	リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 13. DPX-47ND -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) II-6-(6) II-6-(8) を併用	北海道		○ 3	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	+5 ~ /t ² L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 } { 3 6 } { 3 8 } { 4 0 } { 4 2 }
	東北		○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	● 前	● 前	○ 期	○ 前	○ 始	00**		○	○	○	○	1	
	北陸		○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前	○ 始			○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	*:エゾノササカ 2L *:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキヤカラ 発生始		○	○	○	○	1	
	東海	普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	近畿 中国	早	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2	● 始	● 始		○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2	● 始	● 始		○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	● 3	●	● 2	● 2	● 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	2	
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○		

クログワに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
 クログワに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホリイ	ウリカ	ミ カ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	クロ グ ワ	モ タ カ	トル シ ロ	藻類 剥離	リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 14. DPX-47SC -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道		○ 2.5	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	+5 ~ /t ² L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 } { 3 6 } { 3 8 } { 4 0 } { 4 2 }
	東北		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	● 前	● 前	○ 期	○ 前	○ 始	00**		○	○	○	○	1	
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前	○ 始			○	○	○	○	2	
	関東 東山	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再生 前	*:エゾノササカ 2L *:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキヤカラ 発生始		○	○	○	○	1	
	東海	普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	近畿 中国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	● 始	● 始		○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	● 始	● 始		○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1.5	
	九州	早									○ 期		○ 再生 前			○	○	○	○	1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 期		○ 始			○	○	○	○		

クログワに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
 クログワに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナツハ	クリハ	ミズ ナツハ	ヘラ ナツハ	クロ ナツハ	オモ ナツハ	ヒル シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 15. DPX-84MN -1kg 粒 II-6-(1) を併用	茎葉 葉処理	北海道		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生期	○前	○再生期	○*	+5~1/2 x 2.5L	100 g/a	○	○	○	2	(28) (36) (40) (42)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●前	○発生期		○前	○再生期	○00**		○	○	○		
		北陸																			
		関東 東海	早												*:エゾノササカグサ 2L						
		近畿 中国	早												*:1)シズイ 2)コナギナ						
		四国	早																		
		九州	早																		

		処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ナツハ	クリハ	ミズ ナツハ	ヘラ ナツハ	クロ ナツハ	オモ ナツハ	ヒル シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 16. DPX-84MN ①-1kg 粒		産業率 10% 粒処理	北海道											ナ		100 g/a						(28) (34) (36) (38) (42)		
II-6-(1) II-6-(2) II-6-(8) を併用			東北																					
			北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2		●	○	○前		+5~ 1/2 2.5L		○	○	○	○	2	
			関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	○	○前	○			●	○	○	○	1	
				普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		●	始	●	○前	○			○	○	○	○	2	
			近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	○前	○			●	○	○	○	1	
				普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		●	始	●	○前	○			○	○	○	○	2	
			四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	○	1	
				普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		●	始	●	○前	○			○	○	○	○	2	
			九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					○	○前	○			●	●	●	●	1.5
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		●	始	●	○前	○			○	○	○	○					

20g/4に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東～九州)
 25g/4に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東～東海)

VII-2 17. DPX-84ND フロアブル 「継」

VII-2 18. DPX-84ND① フロアブル 「継」

処理法												処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水 cm/d	使用上の注意
地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナツハ	クリハ	ミズ ナツハ	ヘラ ナツハ	クロ ナツハ	オモ ナツハ	ヒル シロ	藻類 剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水 cm/d	使用上の注意
北海道											発生期	再生期	100 g/a						(28)
東北											発生期	再生期	+5~ 1/2 2.5 L					2	(36)
北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	●前	○始	○*		●1	○	○	○		(40)
関東 東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○前	○前	再生期	*ナツハ: 始~本 展開期	○	○	○	○		(42)
近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●前	○前	再生期		●	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○前	○前	○始		○	○	○	○	2	
	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●前	○前	再生期		○	○	○	○	1	
四国	普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○前	○前	○始		●	○	○	○	1	
	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●前	○前	再生期		○	○	○	○	2	
九州	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○前	○前	○始	ナツハ 始	○	○	○	○	1	
														○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナツハ	クリハ	ミズ ナツハ	ヘラ ナツハ	クロダ ナツハ	オモダ ナツハ	ヒルシロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ-2 20. DPX-84TD ①-1kg 粒	養葉率 1 塩処理	北海道											再生 前		100 g/a						(26) (34) (36) (38)	
		東北											再生 前									
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○*	+5~ 1/2 2.5L		○	○	○	○	2	
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	再生 前			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	再生 前			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	再生 前			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	再生 前			○	○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘナ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 21. HJ-942 -1kg 粒	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/t*2.5L	100 g/a			●	●	2	
	東北																				
	北陸																				
	関東 東海	早																			
	近畿 中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘナ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 22. HJ-943 -1kg 粒	養蚕・ 繭処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/2*2.5L	100 g/a			●	●	2	{ 2 8 } { 3 4 }		
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前					●	●	1.5			
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●始						●	●		1	
		関東 東海	早 普		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●再生 前			●再生 前				●		●	●
		近畿 中国	早 普		●2.5	●	●2	●2	●2					●前			●始				●		●	●
		四国	早 普		●2.5	●	●2	●2	●2					●前			●再生 前				●		●	●
		九州	早 普		●2.5	●	●2		●2					●			●始				●		●	●

		処理法	地域名	作期	ノヒエ 広葉 一年 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘナ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	水 減 深 cm/d	使用上の 注意				
VII-2 23. HJ-946 -1kg 粒		嘉葉率土壌処理	北海道	●	2.5	●	●	2	●	2		●	発生 期	●前	再生 前 ↑ 始	+5~ノヒエ2.5L	100 g/a			●	●	2	(28)			
			東北																							
			北陸	●	2.5	●	●	2	●	2	2			●	前							●		●	1	
			関東 東海	早 普	●	2.5	●	●	2	●	2	2									●	●		●	2	
			近 畿 中 国	早 普	●	2.5	●	●	2	●	2	2		●	発生 期			●前	再生 前 ↑ 始			●		●	●	1
			四国	早 普	●	2.5	●	●	2	●	2	2		●	発生 期			●前	再生 前 ↑ 始			●		●	●	
			九州	早 普																	●	●		●	●	

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘナ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 25. KUH-883 -1kg 粒 II-6-(2) を併用	北海道	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+0~1/t*2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	○*	+0~1/t*2.5L		○	○	○	○		(38)
	北陸																				(40)
	関東 東海	早																			(42)
	近畿 中国	早																			北海道は +5~
	四国	早																			東北の 砂土は+5~
	九州	早																			東北の 砂土は+5~ 田植同時 敷(東北の 堆土)~ 堆土)

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	処理	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 26. KUH-883D -1kg 粒	北海道									発生 期	再生 期			100 g/a					(28) (38) (41)
	東北									発生 期	再生 期								砂土は、埴土は 15~(近畿~四国 以外)の地域)
	北陸		0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	関東 東山	早	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	東海	普	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	近畿 中国	早	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	砂土は15~ (近畿~四国)
		普	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1.5	田植同時乾布 可能(関東~ 東海、九州)
	四国	早	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
		普	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1.5	
	九州	早	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
		普	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0		

	処理法	地域名	作期	1/2	広葉 マツハ	ナリ	ナリ	ミズ ナリ	ヘナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 27. KUH-931 -1kg 粒 II-6-(6) を併用	基準土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2		○2			○発 期	○前 期	再 生 前 始	15〜16L	100 g/a	1.5	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 }
		東北		○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始	*:17L/2L		○	○			
		北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
		関東 東山	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○1	○			
		東海	普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
			普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
			普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前 期	再 生 前 始			○	○			

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	処理	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 29. KUH-936B -1kg 粒	北海道													100 g/a					(28) (34)
	東北																		
	北陸		0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	関東 東山	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	東海	普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	近畿 中国	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	四国	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	九州	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	処理	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 29. KUH-936C -1kg 粒	北海道													100 g/a					(28) (34)
	東北																		
	北陸		0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	関東 東山	早	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
	東海	普	0.2.5	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	2	
	近畿 中国	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1.5	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	四国	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	
	九州	早	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	1	
		普	0.3	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0	0	0	0	

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 30. KUH-951 -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道													100 g/a						
		東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2					発生期					●	●	1.5	
		北陸											再生前 始								
		関東	早																		
		東海	普																		
		近畿	早																		
		中国	普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

VII-2 31. KUH-952-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 32. KUH-956 -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道													100 g/a						
		東北																			
		北陸																			
		関東	早																		
		東海	普																		
		近畿	早										発生期								
		中国	普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					再生前 始			●	●	●	●	2	
		四国	早										発生期			●	●	●	●		
			普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					再生前 始			●	●	●	●		
		九州	早										再生前 始								
			普																		

VII-2 33. MK-243D フロアール 「継」

VII-2 34. MK-243D フロアール 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 35. MK-243D -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道													100 g/a						
		東北																			
		北陸		● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					再生前 始				●	●	●	2	
		関東	早										発生期								
		東海	普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					前				●	●	●		
		近畿	早										再生前 始								
		中国	普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					前				●	●	●	1	
		四国	早										再生前 始								
			普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					前				●	●	●		
		九州	早										発生期								
			普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					前				●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハ	ネキル	クリ	ミズ ナリ	ハナ タナ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	葉 剥 離	再 生	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 43. NBA-943 -1kg 粒	北海道	早	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始	+7~1/2 ¹ 3L	100 g/a			●	●	2	(28) (34)
	東北	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	+7~1/2 ¹ 2.5L				●	●	1.5	
	北陸	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	+7~1/2 ¹ 3L				●	●	1	
	関東 東海	早								●発生 期	●前 期	●再生 前 始	+7~1/2 ¹ 2.5L				●	●	2	
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始					●	●		
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始					●	●		
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始	+7~1/2 ¹ 3L				●	●	1	
		普																		
		普																		
		普																		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハ	ネキル	クリ	ミズ ナリ	ハナ タナ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	葉 剥 離	再 生	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 44. NC-311DC -1kg 粒	北海道	早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	+5~1/2 ¹ 3L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期					●	●		
	北陸	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期					●	●		
	関東 東海	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始				●	●	1	
	近畿 中国	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始				●	●	2	
	四国	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始				●	●	1	
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 前 始				●	●		
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハ	ネキル	クリ	ミズ ナリ	ハナ タナ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	葉 剥 離	再 生	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 45. NC-311BW -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	+5~1/2 ¹ 2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (40) (42)
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	●2	●前 期	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○	1.5	
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前 期	○再生 前 始	*:1/2 ¹ /ササキ 2L **: ¹ 2.5L 粒粒-粒3cm				○	○	2	
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○	1	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前	○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○		

ワナリに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東～九州)
ワナリに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北～東海、九州)

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハ	ネキル	クリ	ミズ ナリ	ハナ タナ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	葉 剥 離	再 生	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 46. NC-311SC -1kg 粒	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	+5~1/2 ¹ 2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (40)
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期	○前 期	○再生 前 始	+5~1/2 ¹ 2.5L				○	○		
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期	○前 期	○再生 前 始					○	○		
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○再生 前 始	*:1/2 ¹ /ササキ 2L **: ¹ 2.5L 粒粒-粒3cm				○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期					○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始				○	○		

VII-2 48. NC-339 顆粒水和 「繼」

	処理方法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツノ イナ	ナツノ イナ	クサノ イナ	ミヅ イナ	ヘチ イナ	クサ イナ	モミ イナ	ヒメ イナ	藻類 イナ	類 イナ	セリ	処理時期	使用 量	砂 土	土	土	土	水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 51. NC-365 -1kg 粒	嘉美ネーブル処理	北海道	早	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前		+5~ノヒエ12.5L	100 g/a			●	●2		{ 2 8 }
		東北	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●	●1.5			{ 3 4 }
		北陸	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●始					●	●2			
		関東 山 海	早										●発生期	●前	●再生前					●	●2		
		近畿 中	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前				●	●	●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前				●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2		●2					●発生期	●前	●再生前						●	●1	

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カマ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 52. NC-366 -1kg 粒	産業 廃棄物 処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/2×2.5L	100 g/a			●●	●2		{28} {34}
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前					●●	1.5		
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2							●再生 前			●		●●	2		
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●●			
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●			●	●	●●			
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●再生 前			●	●	●●			
		九州	早 普	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●前	●再生 前					●●	1		

VII-2 53. NC-367-1kg 粒 「継」

VII-2 54. NC-368-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カマ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 55. NCH-903 DEN-1kg 粒	産業 廃棄物 処理	北海道	○3	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~1/2×2.5L	100 g/a	●1.5	○	○	○	2	{28} {34}
		東北	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前			●	○	○	○		
		北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2					●前	●			●	●	○	○		
		関東 東海	早 普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前				○	○	○		
		近畿 中国	早 普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	○再生 前				●	●	●	1	
		四国	早 普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	○再生 前				●	●	●		
		九州	早 普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○				○	○	○		

VII-2 56. NSX-858 フロアブル 「継」

VII-2 57. NSX-858D フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カマ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 58. NTN-831 -1kg 粒	産業 廃棄物 処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2				●発生 期	●前		+5~1/2×2.5L	100 g/a		●	●	●	2	{28} {34}
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2										●	●	●	1	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2											●	●		
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前						●	●	1.5	
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●	●	2	
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●	●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●前				●	●	●	●	1	

VII-2 59. RYH-102-1kg 粒 「継」

VII-2 60. RYH-103 フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意				
Ⅶ-2 61. TH-913ADE -1kg 粒 Ⅱ-6-(6) を併用	茎葉を 塩処理	北海道	早	○3	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	●*	+5~ /t ² 3 L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 }	
		東北	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	●		*:1/2 ² /t ² 3 L	○	○	○	○		
		北陸	早	○3	○	○2	○2	○2	○2					○前 始	○			○	○	○	○			
		関東 東海	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○			
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○			
			普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○			
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	1		
			普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	2		
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	1.5		
			普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
Ⅶ-2 62. TH-913SN 1kg 粒 Ⅱ-6-(8) を併用	蓋土養生土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○***	+5~ /t ² 2.5 L	100 g/a	○	○	○	2	(28) (34) (40)	
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○***	**:[シズイ 2)コトヤ 3)コトヤ 4)コトヤ	100 g/a	○	○	○		
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		100 g/a	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 63. TH-913SC 粒	葦土・葦土・塩土	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○*	+10~/t ² 2.5 L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)	
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		+5~/t ² 2.5 L	○	○	○	○		
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○		*:1/2 ² /t ² 3 L	○	○	○	○		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		2
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		2
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		2
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	○			○	○	○	○		1.5

VII-2 34. CDS-941 7077 ^ル	処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意																																																																		
				●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2	●発生 期	●前 期	●再生 前 始									+3〜ノヒエ2.5L	50 ml/a	●	●	●	●	2	水口処理可能 (北海道、 東北)																																																										
	養蚕土壌処理	北海道	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2		●発生 期	●前 期	●再生 前 始		50 ml/a		●	●	●	2																																																																		
		東北	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2		●発生 期	●前 期	●再生 前 始										50 ml/a		●	●	●	1.5																																																										
		北陸	早																														50 ml/a																																																						
		関東 東海	早																																						50 ml/a																																														
		近畿 中国	早																																														50 ml/a																																						
			普																																																						50 ml/a																														
		四国	早																																																														50 ml/a																						
			普																																																																						50 ml/a														
		九州	早																																																																														50 ml/a						
			普																																																																																				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	テリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 65.CDS-941D 7077 ^h	北海道														50 ml/a						{28} {34}
	東北																				
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2						●再生 前	+3~ノ・t・x2.5L				●●	1		水口処理可能 (北陸~近畿・ 中国・四国)
	関東 東山 東海	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●始			●	●	●	●	2	
	近畿 中国	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前					●●	1.5		
	四国	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●			
	九州	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	2		

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	テリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 1.AC-014A 粒	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	+0~ノ・t・x1.5L	300 g/a	●	○	○	○	2	{28} {34}
	東北		○1.5	○	○2	○2	○2	●2			○期					●	○	○	○		田植同時散布可 能(東北、関東 ~東海)
	北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2				●前					○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○	○	○始	○始	○始				○発生 期	○前	○再生 前				○	○	○		
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	テリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 2.AC-014A 粒	北海道														300 g/a						{28} {34}
	東北																				
	北陸																				
	関東 東山 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普	●1.5 ●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前		+0~ノ・t・x1.5L		●	●	●	1.5		田植同時 散布可能 (近畿~九州)
	四国	早 普	●1.5 ●	●	●始	●始	●始				●発生 期	●前					●	●			
	九州	早 普	●1.5 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●			

VII-3-(1) 3.AC-014A-1kg 粒 「続」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	テリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 4.AC-014C -1kg 粒	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノ・t・x2L	100 g/a	●1.5	○	○	○	2	{28} {34}
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○期	○前	○前			●	○	○	○		
	北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2				●前					●	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	●2 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前						●	●		
	近畿 中国	早 普	●2 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前					●	●	1.5		
	四国	早 普	●2 ●	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前					●	●			
	九州	早 普	●2 ○	○	○2	○始	○2				●発生 期	●前				●	○	○	2		

VII-3-(2) 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツバ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラモ タナ	クロダ イ	オモダ ナ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(2) 1. CH-902 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○1.5	○	○2								+5~t ² x1.5L	100 g/a		○	○	○	2	(18) (33)
		東北	○1.5	○	○2								+3~t ² x1.5L			○	○	○		
		北陸	○1.5	○	○2											○	○	○		
		関東 東山 東海	早 ○1.5	○	○2											○	○	○	1	
		近畿 中国	早 ○1.5	○	○2											○	○	○	2	
		四国	早 普																	
		九州	早 普																	
VII-3-(2) 2. CHG-948 -1kg 粒	土壌処理	北海道	●1	●	●始			●2					+5~t ² (/t ² x1L)	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●1	●	●始			●2								●	●	●		
		北陸	●1	●	●始			●2								●	●	●		
		関東 東山 東海	早 ●1.5	●	●始								+5~t ² x1.5L			●	●	●	1	
		近畿 中国	早 ●1.5	●	●始											●	●	●	2	
		近畿 中国	普 ●1.5	●	●始											●	●	●	1	
		四国	早 ●1.5	●	●始											●	●	●	1.5	
		四国	普 ●1.5	●	●始											●	●	●	1.5	
		九州	早 ●1.5	●	●始											●	●	●	1	
		九州	普 ●1.5	●	●始											●	●	●		
																●	●	●		
																●	●	●		

VII-1 少量散布法

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツバ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラモ タナ	クロダ イ	オモダ ナ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 2. NC-311SC -1kg 粒	土壌処理	北海道												100 g/a						(28) (34) (40)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				発生期	+15~t ² 20 (/t ² x2.5L)		●	●	●	●	2	
		北陸																		
		関東 東山 東海	早 普																	
		近畿 中国	早 普																	
		四国	早 普																	
		九州	早 普																	

VII-1 3. SL-498D-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツバ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラモ タナ	クロダ イ	オモダ ナ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 4. SL-498 -1kg 粒	土壌処理	北海道												100 g/a						(13) (34)
		東北	●2	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●前	+15~t ² 20 (/t ² x2L)		●	●	●	●	2	
		北陸	●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前					●	●	1	
		関東 東山 東海	早 普																	
		近畿 中国	早 普																	
		四国	早 普																	
		九州	早 普																	

Ⅷ-2 少量散布

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ・ヤ クリ	ヘラオモ ダ・カ	クロク ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅷ-2 1. CGM-71 7077 ^ル	北海道													30 ml/a						一発処理型除 草剤の少量散布 可能(30ml/a)
	東北		● 1	●	● 始	●	●						+0~+5 (/t ⁺ ±1L)				● ●	1		
	北陸		● 1	●	● 始		●										● ●			
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ・ヤ クリ	ヘラオモ ダ・カ	クロク ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅷ-2 2. TCG-128 乳	北海道													30 ml/a						一発処理型除 草剤の少量散布 可能(30ml/a)
	東北		●	●	●	●							植代時(〜4)				● ●	1		
	北陸																			
	関東 東山 東海	早 普	●	●	●	●	●										● ●			
	近畿 中国	早 普	●	●	●	●	●								● ● ● ●	1.5				
	四国	早 普	●	●	●	●	●								● ● ● ●					
	九州	早 普	●	●	●	●	●								● ● ● ●	1				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ・ヤ クリ	ヘラオモ ダ・カ	クロク ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅷ-2 3. TSR-121 7077 ^ル	北海道		● 1	●	● 始								+0~+5 (/t ⁺ ±1L)	30 ml/a		●	● ●	2		一発処理型除 草剤の少量散布 可能 水口処理可能 (北海道)
	東北		● 1	●	● 始											● ●				
	北陸		○ 1	○	○ 始										● ● ○ ○					
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始											● ● ●				
	近畿 中国	早 普	● 1	●	● 始											● ● ●	1.5			
	四国	早 普	● 1	●	● 始											● ● ●				
	九州	早 普	● 1	●	● 始											● ● ●	1			

平成7年度 水稻関係除草剤ジャンボ剤使用基準一覧表

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワリ	ヘラオモ タカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 1. KPP-2005	北海道	作	○1	○	○始		○始					移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (46)
	東北	作	○	○	○	○						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (46)
	北陸	作	○	○	○	○						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (46)
	関東 東山 東海	早 普	●1 ○1	● ○	●始 ○始	●始 ○始						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1 2	(45) (46)
	近畿 中国	早 普	○1 ○	○ ○	○始 ○始	○始 ○始						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45) (46)
	四国	早 普	○1 ○	○ ○	○始 ○始	○始 ○始						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45) (46)
	九州	早 普	○1 ○	○ ○	○始 ○始	○始 ○始						移植後～4.10～+3 (/t ⁺ 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1	(45) (46)

Ⅱ-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワリ	ヘラオモ タカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 1. AKD-7036	北海道	作									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45)
	東北	作									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45)
	北陸	作									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	1	(45)
	関東 東山 東海	早 普									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45)
	近畿 中国	早 普									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	1	(45)
	四国	早 普									○始～盛	藻類・表層剥離発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	九州	早 普									○始	藻類・表層剥離発生始	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワリ	ヘラオモ タカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 2. CG-113	北海道	作										+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	東北	作	○始	○	○始							+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	北陸	作	○始	○	○始	○						+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	関東 東山 東海	早 普										+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	近畿 中国	早 普										+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	四国	早 普										+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)
	九州	早 普										+3～+5	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	(45)

Ⅱ-4 茎葉兼土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワリ	ヘラオモ タカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-4 1. DEH-112	北海道	作	○4									t ⁺ 12.5L～4L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	東北	作	○4									t ⁺ 12.5L～4L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	北陸	作	○3.5									t ⁺ 12.5L～3.5L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	関東 東山 東海	早 普	○3.5									t ⁺ 12.5L～3.5L	50g x23 /a	○	○	○	○	1	(45) (47)
	近畿 中国	早 普	●3.5									t ⁺ 12.5L～3.5L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	四国	早 普	●3.5									t ⁺ 12.5L～3.5L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	九州	早 普	●4									t ⁺ 12.5L～4L	50g x23 /a	○	○	○	○	1	(45) (47)

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホナノイ	ウリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
II-5 I. DEH-112	北海道	早	○4										+15~+35 (7/12.5L~4L)	50g× 2-3/a	●	○	○	○	2	(45) (47)
	東北	早	○4																	
	北陸	早	○4																	
	関東山	早	○4																	
	東海	早	○4																	
	近畿	早	○4																	
	中国	早	○4																	
	四国	早	○4																	
	九州	早	○4																	
	九州	早	○4																	

II-6-(1) クログワイ対象

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホナノイ	ウリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
II-6-(1) I. JC-940	北海道	早											+2~ クログワイ発生始	50g× 2/a			○	○	1.5	(40) (42) (45) (47)
	東北	早							○始											
	北陸	早																		
	関東山	早																		
	東海	早							●前											
	近畿	早																		
	中国	早							○始											
	四国	早																		
	九州	早							○始											
	九州	早							○始											

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東～四国)

VII 一発処理剤

VII 1. NCG-370 「継」

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホナノイ	ウリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 2. SW-951	北海道	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●再生前	+5~7/1.5L	50g× 12/a			●	●	2	(45) (47)
	東北	早	●1	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●再生前	+3~7/1.1L				●	●	1.5	
	北陸	早																		
	関東山	早																		
	東海	早																		
	近畿	早																		
	中国	早																		
	四国	早																		
	九州	早																		
	九州	早																		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホナノイ	ウリカワ	ミスカヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類腐剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 3. SW-951①	北海道	早												50g× 12/a						
	東北	早																		
	北陸	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●再生前	+3~7/1.5L				●	●	1	(45) (47)
	関東山	早	●1.5	●	●始	●始	●始													
	東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始													
	近畿	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●再生前				●	●	2	
	中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●再生前				●	●		
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生期	●再生前				●	●		
	九州	早	●1	●	●始	●始	●始													
	九州	早	●1	●	●始	●始	●始						+3~5 (7/1.1L)				●	●	1.5	

VII 4. SW-952 「継」

VII 5. SW-952① 「継」

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ カヤ	オモ カヤ	ヒメ シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ-3-(1) 1. AC-140	土壌処理	北海道			●	●	2	●	●	2			●前		+5~ /t ² ×2L相当 (+15)	50g× 23/a			●	●	2	{ 4 5 } { 4 7 }	
		東北			●	●	2	●	2									●	●	1			
		北陸			●	●	2	●	2	●	2							●	●	●	2		
		関東 東海	早 普		●	●	2	●	2	●	2			発生期 ●						●	●		1
		近畿 中国	早 普		●	●	2	●	2	●	2			発生期 ●	●前				●	●	●		●
		四国	早 普		●	●	2	●	2	●	2			発生期 ●	●前				●	●	●		●
		九州	早 普		●	●	2	●	2	●	2			発生期 ●						●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ カヤ	オモ カヤ	ヒメ シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(1) 2. AC-014C	土壌処理	北海道		●	2	●	2	2		●	2		発生期	+5~/t ² ×2L	50g× 23/a			●	●	2	{ 4 5 } { 4 7 }
		東北		●	2	●	2	2	2	2	2		発生期					●	●	1	
		北陸		●	2	●	2	2	2	2			●前				●	●	●	2	
		関東 東海	早 普	●	2	●	始	●	始	●	始						●	●	●	1.5	
		近畿 中国	早 普	●	2	●	2	2	2	2			●前			●	●	●	●	1	
		四国	早 普	●	2	●	2	2	2	2			●前			●	●	●	●		
		九州	早 普	●	2	●	2	2	2	2									●		
				●	2	●	2	2	2	2								●	●		

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マツハ	ミズ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ カヤ	オモ カヤ	ヒメ シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ-3-(2) 1. AC-140D	土壌処理	北海道			●	●	2								+5~ /t ² ×2L相当 (+15)	50g× 23/a			●	●	2	{ 4 5 } { 4 7 }	
		東北			●	●	2											●	●	1			
		北陸			●	●	2										●	●	2				
		関東 東海	早 普		●	●	2								+5~ /t ² ×2L相当 (+10)					●	1		
		近畿 中国	早 普		●	●	2										●	●	●	●	1.5		
		四国	早 普		●	●	2										●	●	●	●			
		九州	早 普		●	●	2													●	1		
						●	●	2												●	●		

水稲関係除草剤使用基準一覧表の表示について

- 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。〔例：○前(発生前)、○2(2葉期まで)〕
Ⅳ及びⅤの項目の地域名の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
- 使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。
- 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
- 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
作期の拡大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。
葉齢の拡大：拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。(例：○2.5)
処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：±3~/t²×2L, 50~75ml/a)
土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。
- 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下の時は、砂壌土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の湛水は48～72時間経過後に行う。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/aを処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/aで処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (21) 前処理剤との組み合わせで使用する。
- (22) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用はさける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除は、エゾノサヤヌカグサに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5～6cmの湛水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。



便利さと使いやすさを
追求しました——!



楽らく快適!

水稲用一発処理除草剤



■水口施用

■手振り散布

■田植同時施用

武田薬品工業株式会社
アクロ事業部
東京都中央区日本橋2丁目12番10号

●農薬は正しく使いましょう!

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

新刊 日本原色植物ダニ図鑑

江原昭三／編集
A5判 定価13,000円(税込)

微少で判別の困難な代表種といえる植物ダニ。本書は代表種88種をカラー写真と形態図・記載により解説した判別図鑑。農業上被害の大きいハダニについては、別項を設け解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188(代)

平成8年3月発行
植調第29巻第12号

定価412円(送料270円)
(本体400円, 消費税12円)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂英雄
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新成印刷

いのちの輝きを見つめる
Meiji



非選択性茅葉処理型除草剤
(ピアラホス除草剤群)

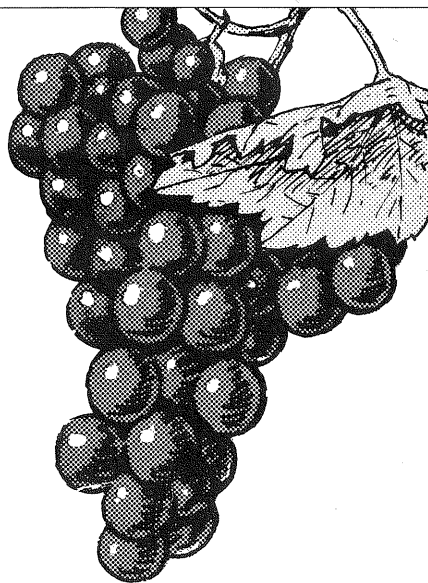
ハービー液剤
サポート水和剤
インパルス水溶剤

 明治製菓株式会社
104東京都中央区京橋2-4-16

植物化学調節実験法

植物化学調節学会 高橋 信孝・編
A5判・468頁・定価5,000円(税別)

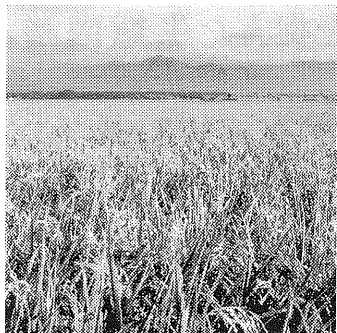
植物の化学調節研究はいわゆるモニター屋、ブッカケ屋の連携によって初めて可能となるもので、両者の相互理解が必要です。本書はこの研究に役立つよう編集されています。つまり、作物の研究者、技術者が生理活性物質の分離・同定や生物検定法を、化学、薬学の研究者が除草剤、植物調節剤の生物実験法を理解し、実験できるよう平易かつ具体的に解説してあります。



発行 植物化学調節学会

発売 全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
〒213 TEL.03(833)1821 FAX.03(833)1665



ホクコーの水稲用除草剤

バトル1キロ 粒剤

クサメッツ フロアブル

レトリアー フロアブル

レインジャー1キロ 粒剤

ブローダックス 乳剤

ユニハープ フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

農 協 経 済 連

全 農



北興化学工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20



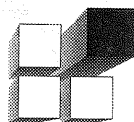
AgrEvo

速くて、
しっかり

ダブル

W効果の除草剤

- 速く効く、長く効くバスタ
- 人、作物、土、環境に優しいバスタ
- なんでも枯らすバスタ ●使いやすいバスタ



バスタ 液剤

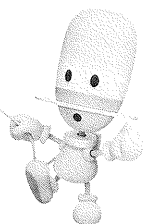
®：ドイツ ヘキスト社の登録商標

バスタ普及会 日本農薬(株)/日産化学工業(株)

〈事務局〉ヘキスト・シェーリング・アグレボ(株) 〒107 東京都港区赤坂4-10-33 ☎ 03 (3585) 9539

資料請求

え!? スギナも ラウンドアップ®で!



NEW

雑草を根まで枯らすのが、
ラウンドアップです。
スギナを根まで枯らしてしまえば、
長期間抑えられます。

ラウンドアップ®

資料請求券
R-100000

※モンサントカンパニー登録商標

※詳しい資料をご希望の方は、ハガキに資料請求券を貼付して、〒101-91千代田区神田郵便局私書箱195号「日本モンサントお客様係」まで。
TEL 03-3252-4225/FAX 03-3252-9081

「ラウンドアップ、
スギナにも認可」
平成八年一月十九日 農林水産省農薬登録において、ラウンドアップのスギナへの適用範囲拡大が認可されました。

ラウンドアップでスギナを枯らす
4つのポイント。

- (1) 25倍液をしっとり濡れるように。
- (2) 5月頃が最適。
(草丈20cmぐらいが目安)
- (3) 他の草と混成しているところでは、
スギナに着くよう丁寧に。
- (4) 散布後の雨に注意。

自信の選択。



水田除草、新時代。

水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84剤

ウルブエース ザーク® フジワラス®
プッシュ® ゴルボ® レインジャー®
カルショット® クサメッツ®

※DPX-84の一般名はベンスルフロメチル



デュポン株式会社 農薬事業部

〒153 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコ・タワー TEL.(03)5434-6116

新しい流れ、 時代は1キロ、軽量化!!



10アール当り
1kgの散布

1キロ粒剤
の特長

- ①10アール(1反)当たり1kgの散布で安定した除草効果
- ②軽量なので作業が楽
- ③散布効率が向上
- ④軽量、小型なので持ち運びが楽
- ⑤最新技術で工夫した製剤
- ⑥省資源を目指した製剤



水稲用一発処理除草剤

ウルブエース 1キロ粒剤 51.75



JAグループ
農協 全農 経済連



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-91

効きめ、あざやか。

3.5葉期までのノビエを防除

残効性が長く、経済的な――

水田中期除草剤

マムットSM 1キロ粒剤

クログワイなどの難防除雑草に

体系防除の中期剤としても使える――

初中期一発除草剤

ベールーフ 粒剤



- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

農協 全農 経済連

全農は登録商標 第1902445号

〔モリネット普及会〕

ゼネカ株式会社
株式会社トーメン
三笠化学工業株式会社

事務局：

八洲化学工業株式会社
〒213 神奈川県川崎市高津区二子757-1